

婦人少年と



創刊号

婦人少年協会



近代人のアクセサリ

三
SANKYO
共

疲れぬビタミン

三共の赤箱

強力 オリザニンレッド

注射・効果が早く痛くないビタミンB₁注射液
1cc中 3mg 5mg 10mg 20mg 各10管

錠剤・最も大切なビタミンB₁B₂Cの錠剤
100錠 (140円) 300錠 (370円)

東京 三共株式会社 日本橋

十字マークの優等品!

水溶性製剤	結晶	ペニシリン・カリウム	10万・20万
		ペニシリン・Gカリウム	10万・20万
	水性結晶	プロカインペニシリンG	30万・150万
		プロカインペニシリンG	30万・300万
油性結晶	複合水性ペニシリン	40万・200万	
	複合油性ペニシリン	40万・400万	

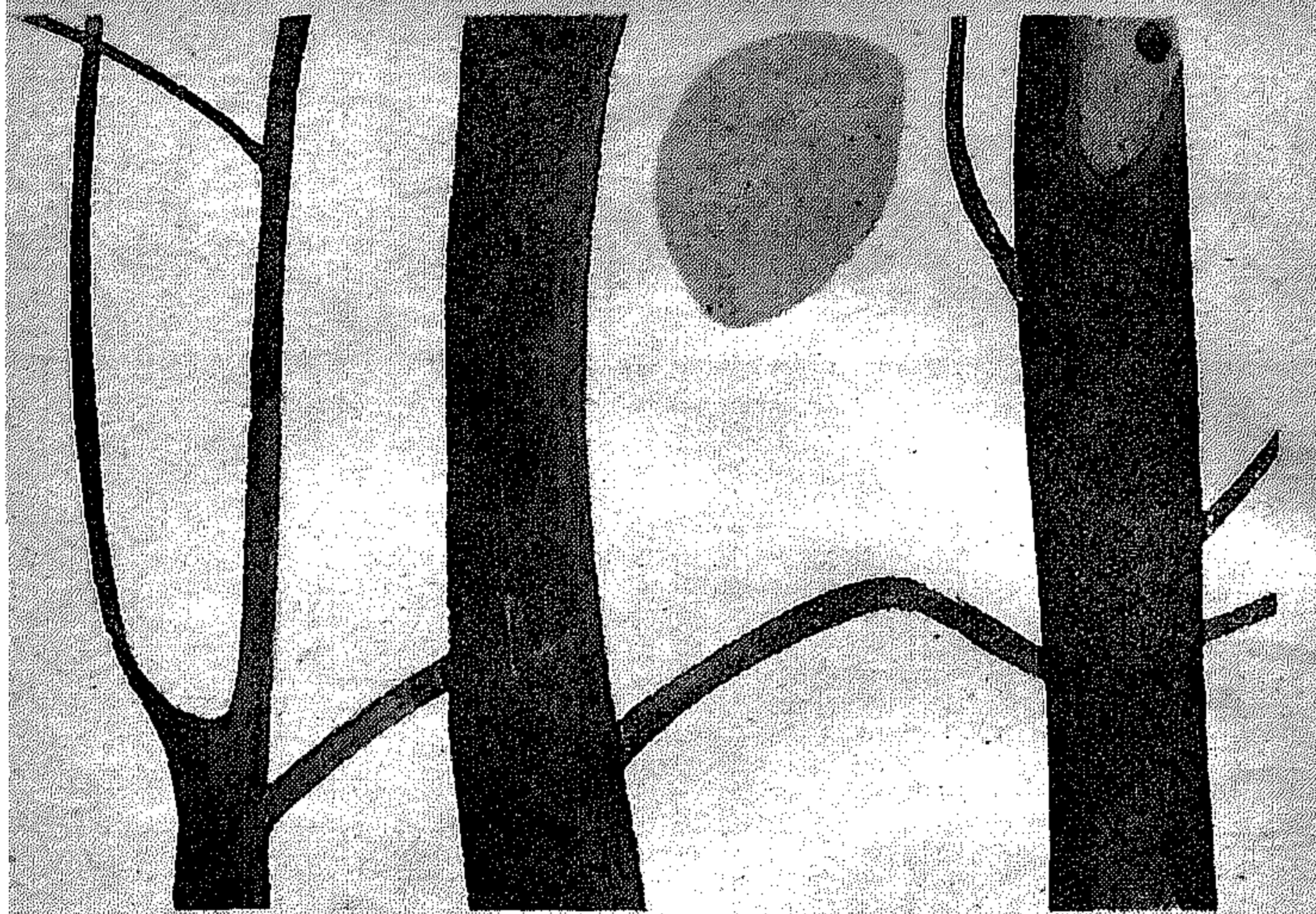
経口剤…緩衝結晶ペニシリン錠…1錠10万単位
3.5.10錠入

外用…結晶ペニシリン軟膏……………1瓦1,000単位及
(カリウム塩) 10,000単位
5瓦・10瓦・50瓦入

明乳ペニシリン

ペニグリーン目薬

明治乳業



婦人と年少者 創刊号 目次

発刊のことば……………婦人少年協会長神近 市子…2
創刊を祝して……………労働省婦人少年局長藤田 たさ…3

前途多難の婦人解放 山川 菊栄…4

最近の国際状況について……………福井 文雄…7

若き世代の一断面……………森田 宗一…10

婦人の地位は向上したか……………19

——第四回婦人週間当選論文四篇——

座談会 婦人少年局五カ年の歩み……………10

西遊通信……………桐原 葆見…22

別居生活……………主婦は語る……………笠 信太郎…25

近頃の世相……………美川 さよ…26

資料室……………28

中学生の進路……………28

売春問題の対策に関する答申……………29

給与関係統計……………31

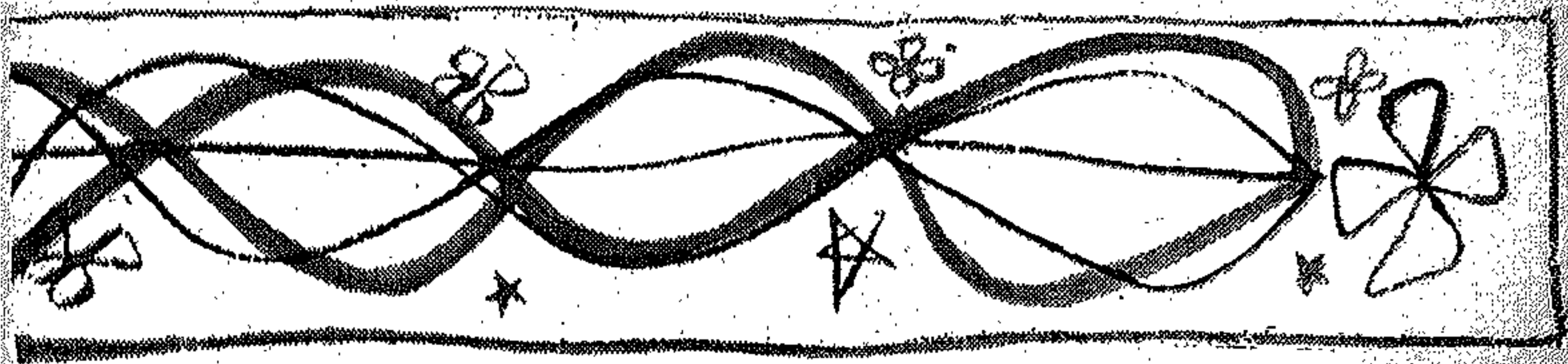
米国における離婚の状況……………27

ILO繊維労働委員会とは……………31

おしらせ欄……………31

働く娘さん

この写真は「働く婦人写真コンクール」で労働大臣賞となつた長野市の山崎国正さんの作品です。このコンクールは、昨年十二月に生活科学協会、サン写真新聞社によつて催され、働く婦人の健康でたのしい美しさを、写真によつてあらわそうとしたものです。これに対し労働省と厚生省も後援しました。なお、この外に東京都の加瀬彩さんが同じく労働大臣賞をうけました。



発刊のことば

婦人少年協会々長 神 近 市 子

子供は社会の次の世代を担う者であり、婦人はその子供を生みかつ育てる大切な役割をはたす性であります。しかし、婦人と子供は社会にたいして抗議することゝ知らず、悪い待遇に反抗できないところから国家と社会によつて無視されがちであり、その社会にある不合理と矛盾とは何時もこのよわい婦人と子供におしつけられて来たものであります。これは貧しい家庭で、貧しさから生ずる苦痛をもつとも多く忍ばなければならぬのは先ず妻であり、次に子供であるという私共の日常の見聞の場合とほぼ同じ理由によるものであります。

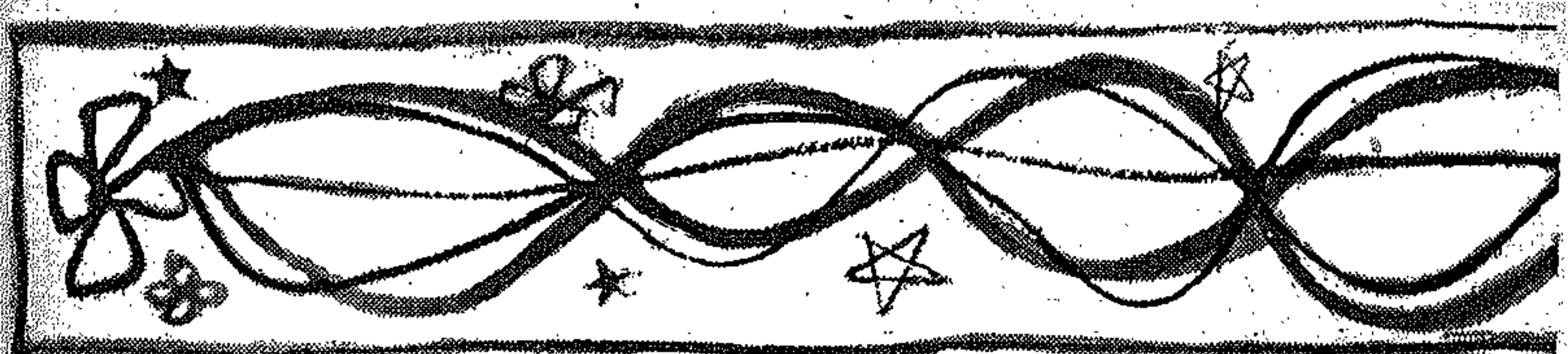
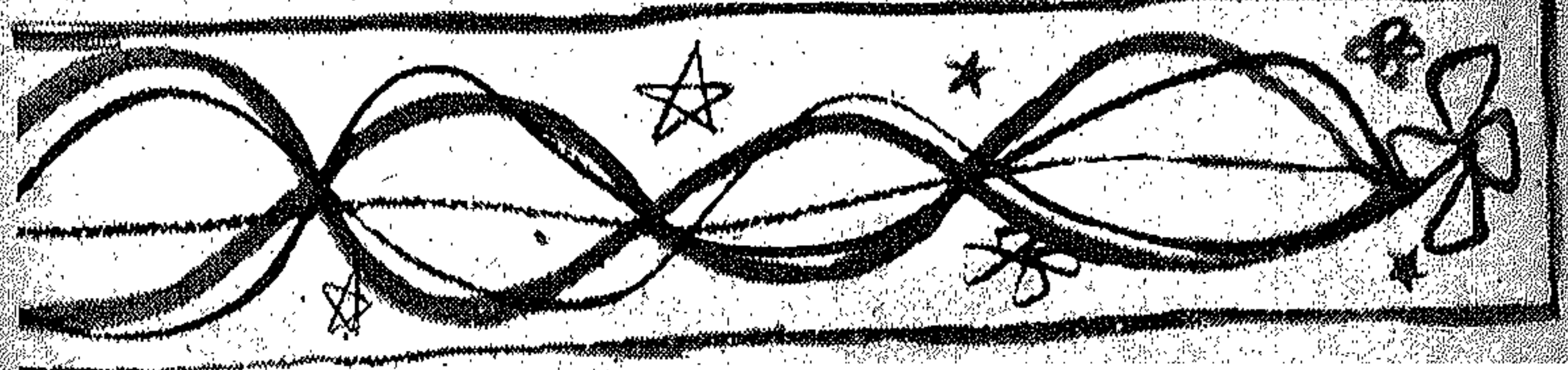
しかし万人に基本人権を認め、万人の福祉をはかる政治機構をもつて成立している近代国家であればその社会の弱者の境遇に先ず眼をむけられなければならないのは当然であります。こうして近代社会で婦人と子供の境遇改善の問題がうまれて来たものであります。日本は明治の改革によつて一応近代化の偽装はしながらも、その本質においては全く封建制度が温存され、婦人と子供とはなんらの保護も施策もなしに打ち捨て、おかれたものであります。たゞ一部婦人指導者の運動によつて母子保護法は制定されましたが、それも極めて狭い範囲に行われたばかりで、国家が眞剣にこの問題と取り組むという事はなかつたのであります。

敗戦による日本民主化の道程に労働省がうまれ、労働省内に婦人少年局がおかれたというのは、日本としてははじめて近代的な婦人子供施策にのり出したものであります。それ以来、僅少な予算と極めて限られた人員によつて、婦人少年局はこの未開拓の事業にとり組んで涙ぐましい努力をかたむけ、年々の婦人週刊に見るようによく広汎にわたる反響をよびまわっているようです。

しかし、今日の社会の矛盾と、日本の全歴史にわたる不合理な抑圧を負わされてきている婦人と年少者の境遇を健全化するという事業は、婦人少年局の一部局のみによつては伸々達成に困難な事情も生じて来ております。

それで婦人と年少者の境遇改善に関心をもち、これを現在の日本民主化の線にそつて逐次進展させたいという希望を有する者が集りまして、こゝに婦人少年協会を発見せしめたものであります。

協会の志ざすところは、一般的には婦人少年局の仕事を協力助成するということにつきます。婦人少年局は発足以来今まで、いくたの調査資料を提供し、資料の分析分類を行いこれを印刷頒布するなど、か



くれた努力をかさねて来ているのであります。が、この種の資料も調査も外国人に利用尊重されるほどにも国内においては判断の基礎として用いられることなく、甚しくは婦人自身によつて、その目的は無論のこと存在そのものすら認められていないというのが今日の真相であります。このことは、局が新設のものであることも理由であることは無論であります。また一方国家によるこんな恩恵を予期しないかなしい婦人の歴史にもよるものであります。

協会の第二の任務は、ひろく婦人少年局の存在することを一般に知らせ、今後ますます多くなると思われる婦人と年少者の各種の問題について適正な解決を社会に勧め、新しい日本の社会建設に寄与しようというにあります。

日本が眞に文化国家として再生するには、国民の半ばを占める婦人を再教育し、この婦人によつて子供たちに新しい平和な国家の理念を教えることが必要であります。知性を尊び勤労をたのしみ、友愛と社会奉仕によるこんで挺身する新国民は、これまでの放擲された境遇からは生れえないのであります。計画的な保護、合理的な労働の條件、楽しい余暇の利用指導等こそ、明日にも着手されねばならない仕事であると思ひます。

本誌はこの目的達成の一つの手段として発刊されるものであります。婦人少年局を中心とする事業の弘報、調査の発表等の役割をはたそうとするものであります。ひろく一般の御支持と援助とを願ひたいと存じます。

創刊を祝して

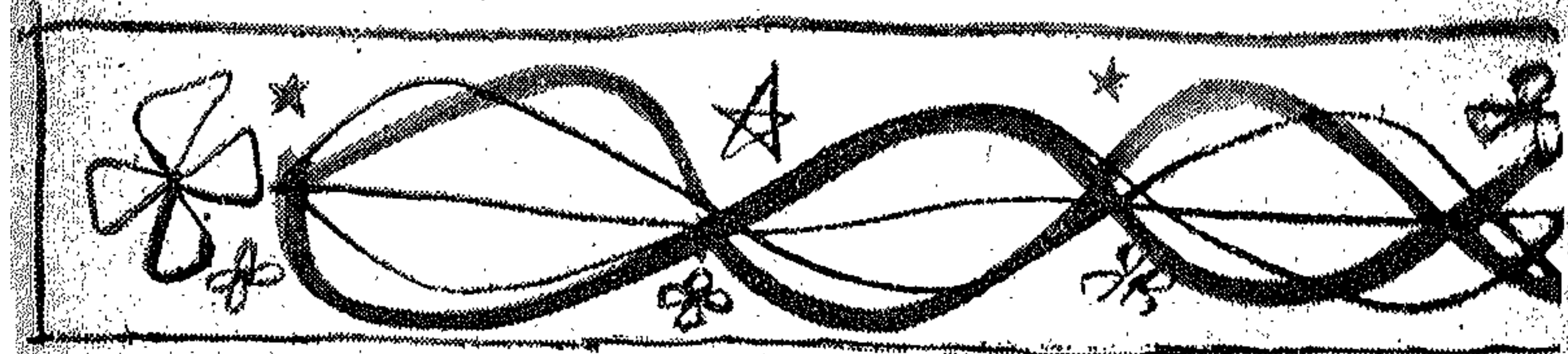
たえず強い御支援を、婦人少年局に与えて来て下さつた、朝野の方々によつて、婦人少年協会が、設立されましたことを、まことに嬉しく存じます。更に、その第一のお仕事として「婦人と年少者」が、発行される運びとなりましたことは、此上ない喜びであります。

創立以来五年、婦人少年局は皆様の御援助と、職員の見聞の結果、婦人と年少者に関する調査研究において、その実力をお認めいただくようになってまいりました。そして「婦人少年局の資料を手に入れたのだ」と云われ

ます度毎に、予算たらず、ひろく、資料をおわかしすることの出来ないのを嘆いて来ました。

婦人少年局と共に、困難な道程を歩いてまいりました「婦人少年局月報」も月一度の発刊、しかも頁数僅かに四頁で、ただ私共の仕事の骨組だけをお伝えすることが出来たのみであります。今婦人少年協会によつて発刊される運びにいたしました「婦人と年少者」が、この「月報」に肉をつけ血を通わせ、日本婦人の民主化、働く婦人、年少者の幸わねに、大きく貢献して下さることを期待し、およろこびの言葉といたします。

婦人少年局長 藤田 たき



前途多難の婦人解放

山川 菊栄

同一賃金の問題

第一次大戦の直後、いわゆるデモクラシーの満潮時代に人類や性によらず、人としての平等を認めるという原則が、ロシアはいかに及ばず一応先進資本主義諸国でも認められました。大戦前にも部分的には認められていた婦人参政権が、一般的原則として認められるようになったのはこの頃から第二次大戦へかけてのことでした。しかし自動車に乗る時、戸口を通る時には女を先にするとか、ちつとばかりの持物をもつてやるとかいうような、人目につきやすく、しかも至つて安直で痛くも痒くもないことでは女性を尊重しているかのように見せることが白人紳士諸君の得意とする所であり、女もまたその浅はかな虚栄心をこういうことで満足させてこんなことと人としての平等とをあつさりすりかえられ、ごまかされていくことに気のつかない者が、今でも決して少なくはないのです。白人の社会はその高度の経済的発達により、また殖民地の擧取によつて、一般的に生活水準が高

い、従つて婦人も労働者もその恩恵に浴してはいます。けれども原則的な意味で、果してこれらの社会が有色人種のそれより、人権を尊重し、個人の平等を認めているかどうか。この点では、私は兼々多くの疑いを抱いて居り、半年あまり外国をのぞいてきた結果、その疑いを解くような動かし難い力強い証拠を見る幸福な機会にはめぐま

れなかつたのです。もし民族自決ということが眞実白人の信条であるならば、今日植民地民族の反乱や独立運動の起る筈がなく、有色人種は既にそれぞれ独立していた筈です。また経済的搾取、労使の対立がなかつたならば、労働問題はこりええない筈です。婦人の地位についても同じことがいえるので、要するにほんどうのデモクラシーはまだこれからです。資本主義に属する限り、白人社会も有色人種の社会も、個人の平等はまたお題目に過ぎ、程度の差に過ぎないので、晋々の将来には長い長い戦いの道がつづいているのです。

一昨年十一月私達英国見學に出かけた日本婦人五人の一行がノッティンガム大学へいつた時校長の室で暫く懇談する暇がありました。この時私は『英国でまだ男女同一労働同一賃金の問題が解決されていないことを、あなたはどうう思ふか』という質問を出しました。すると彼は

『今までのいんぎんな態度で待つてゐるせんとかまへ冷笑を浮かべて答へました。『あんなことはアメリカ人が君らに教えたんだらう』』

私は『吾々はアメリカ人が言おうというまいと正しいことは正しいと認めます。あなたはそれを正しいと思ひですか、どうですか』』

『同一労働、同一賃金などということが實際とありあられれば、男よりも女が損する。同じ賃金を払うなら女よりも男を雇ふことになる。女は職を失ひ、就職の機会を失ふことになるだらう』』

と日本の資本家をそのままの口ぶりです。

私は『それは女が同じ能力をもたずに平等の賃金を要求すればそうなるでしょう。しかし晋々のいうのは同じ価値の労働をする場合です。晋々は男子にとつて不公平な、不当な特権を婦人のために要求するのではない。平等の人間として扱われることだけを要求しているのです。』』

『いいましたが、それきりもうこの人と口をきく氣にもならなくなりました。英国では政府職員なる女子の俸給は男子の八割と推定されています。個々の産業又は職業では、雇主と団体交渉の結果賃金率が決定されるので、産業によつては、平等賃金の原則の実施されている所もあります。例えばランカシャーの綿業などはそうです。そして戦後、一般に女子の賃金率が改善されて男子との差が著しく

縮まつてきたことも事実です。しかし一般の賃金の水準の標準となる官庁給付の男女差がなお公然認められてゐる限り、民間企業の雇主はいかにして男女差の維持に努めようとする、結局労働階級全体の搾取を政府が承認し、手つたつてゐるようなもので、差別撤廃の要求は年毎に強くなつてゐるのです。或る組合の婦人幹部は、過去三十年来、どの政府も口先ばかりで誠意を以てこれを解決しようとしな、と憤り『労働党の政府さへもですか』と私がきくと、労働党政府とてもこの点では他の内閣と何の違ひもなかつたと答へました。

今年四月労働党婦人部の大会では、この問題が約三時間にわたつて討議された末、TUC(英国労働組合会議、組合員数八百万)を代表して列席したミス・ホランが立つて、この問題は経済問題であつて政治問題ではない、故にかかる政治的會議に於て取上げるよりは組合の問題として、組合が個々の雇主と折衝して解決するのが効果的だと主張し、党婦人部またこれに和した。問題はTUCと個々の組合一任するということになりました。これは英国労働運動の保守的傾向を示す一つの現われでした。昨年春、労働党内閣の当時、労働大臣だつた左派のベヴァン氏が政府職員の男女平等給与実施を主張したのに対し、蔵相だつた右派のゲイチケルが反対して成立しなかつたいきさつがあり、右派ひと色で固めてゐる婦人部としては無理もないいき方でした。私はこの大会にメッセージを出しておきました。その中に、日本では戦後婦人の地位に著しい改善が行われ、同一賃金は労働基

5

準法の中に規定され、この原則に反して、同じ労働に對し婦人に安い賃金を払つた雇主の罰せられたこともたびたびある、とかいておきました。婦人部長がそのメッセージを会場でよんだ時、ここにくるとさかんな拍手が起りました。昨年五月半ば、私のロンドンを出る数日前の議會でこの問題が上程され保守党内閣は男女差撤廃の原則を認めることになりましたが、予算に關係するといつたので実施期日は定めず、十月の労働党の大会では、かかる不正を放置しては婦人参政権も事実上、平等人権の意義をもたないという批判が行われ、政府に對して実施期日を明示させるための党の活動が促されました。右の婦人大会で公務員組合の代表として屢々立つて熱弁を振ひ、ユーモア百出満場を笑いの渦にまきこんでばかりいた女傑的人物は、婦人の大臣が男子の大臣と同じ俸給をうけ、婦人議員が男子議員と同じ金をとりながら、婦人公務員の差別待遇を冷眼視するのは何故かと鋭く批判しました。あとでこの人と個人的に話してみ

た時、『何といつても男子の性的偏見が原因だ』と憤慨していました。英国でも政府部内の責任ある地位は男子が独占して婦人はなかなか進出できないといふことは、婦人たちがみな認めて憤つていたところでした。しかし相当のききな人もあるので、私は第一次大戦直後、ピクトリス・ウェップが出した男女賃金問題のパンフレットを当時私が抄訳して紹介したから日本の古い組合指導者たる婦人たちは、あの本をみな知つてゐると話しても、肝心の英国でそう読まれ

てゐるようでもありませんでした。しかし或大きな組合の男子指導者に向つて、私は英国へきて、これほど重大な問題が解決されていないのに失望した、といひましたら、ムキになつて、『しかしあなたは日本婦人の地位が實質的に英國婦人の地位より高いとはいひきれないでしよう』』

といわれた時は、それを認めるわけにいきませんでした。何しろ先方は全国の男女平均賃金の差が、女子は男子の七八%(TUC調査による)日本では四三%程度なのですから。

フランスでは男女平等賃金を戦後改正した憲法で認めており、イタリアもこれを法制化してゐました。但しこれらの国では英国ほど婦人が近代産業に働いていないので、法律だけでその地位が英國婦人より高いといひかねる点、日本と共通のものがあることを感じました。

母性 圧迫

婦人の婦人たる所以は第一に子を生むことにあり、社会は婦人のこの特徴を尊重し、その勞害に感謝こそすべきであれ、それを白眼視し迫害してはならないのです。ところが、生産が社会のため人間のためでなく、利潤のために行われる資本主義の社会では、この婦人の特徴が生産の道具、資本の奴隷としての労働者たる身分では甚だ不都合な、不合理なハンディキャップなど考えられます。お産をするから女はいけない、お産で休むから女はクビにするのが当然だなどという非人道的、非論理的な雇主根性が逆コースと共に幅をきかせてくる傾向がある。し

かし女はそんなにのべつにお産ばかりする者ではない。何百人にひとり、何年か一度、お産をして、そのため国家が公然認めている休暇をとるのがなぜそんなに悪いのでしょうか。男だつて病欠欠勤はいくらもあることではありませんか。結核のため特に長期の有給休養期間が認められていることは周知の通り。男は病気のため産休の何倍休んでもいいが、女は絶対に休んではならない。お産をする恐れがあるというだけで、女を首にするの正当な理由が成りたつと考へることが男女平等の人権を認める所以でしようか。私は男でも女でも人間と生れた以上、結婚もし、子供も持つのが正常な生活だと思ひます。けれども今日の社会ではいろいろの原因で未婚に終る婦人が男子よりも遙かに多い。その未婚婦人をオールドミスと呼んで不具者扱いする社会の特に男子の偏見を私は憤ると共に人間として正常な結婚生活を営み、母として、意義ある社会的任務を果す婦人に対し、非人間的な無理難題と圧迫を加える資本家的見解に対しては一層の憤りを感じざるをえません。こういう人々に對して婦人問題のいろはを學ばせるためにも、婦人と労働者の団結が必要です。団結して戦うほかにこれらの迷夢をさます道はないのです。

社会主義革命を経たユーゴスラヴィアはヨーロッパの小さな後進国ですが、その母性保護は先進諸大國のはるかに及ばぬものがあります。職業をもつ婦人は分娩前三月及び分娩後三月の有給休暇を与えられ、更に三月は一日四時間働いて八時間分の給与を与えられ、あと六ヶ月間

も分娩後一年に達するまでは一日六時間働いて八時間分の給与が保障され、別に子供一人毎に二千ディナール(邦貨二千四百円)が与えられ母は勤めでも勤めなくても経済的独立が確保されているのです。結婚した女性、母となる女性の経済的、社会的保護こそ婦人解放の最終の目標です。婦人が職業をもち、経済的独立を保つためには妻となり母となる自然の恵み、最大の幸福を犠牲にしなければならぬようでは、どこに婦人解放の実があるでしょう。単に職業をもつことが婦人の解放ではない。男も女も生産の奴隷となり、道具となることによつて辛じて飢を凌ぐに足る賃金を得ることに満足すべきではない。自分自身が生産の主人となり、各人の幸福のために、その性的、個人的天分を發揮し得るように社会を運営してこそ、婦人の解放も、労働者の解放も可能なのです。私たちはこの目標に向つて団結し、前進しなければならぬ。そういう目標をまだ認めていない社会は、いかに富みかつ榮え、便利に敏活に物事が運ばうとも、それは偽善的の社会にすぎません。この意味で私は今のヨーロッパにも、アメリカにも東洋と同じく眞実の意味での婦人解放は未だしく、資本主義諸國に飽を求めよよりも、まず自分たち自身が飽を垂れるつもりで勇敢に、執拗に戦いつづければならぬと切に感じている次第です。

X X
X X
X X

ILO組織労働委員会とは
ILO即ち国際労働機関は、一九一九年第一次世界大戦後つづられ、第一次、第二次世界大戦によつて世界中を襲つた恐慌や戦争の恐怖を乗り越つて、一九四六年国際連合の専門機関となりました。

ILOは国際労働総会、理事会、国際労働局の三つの機関をもつ外に、一九四五年から八つの産業委員会とこれに連する二つの委員会、つまり炭鉱、繊維、建築土木公共事業、鉄鋼、金属産業、内国運輸、石油、化学工業、裁縫労働、俸給、知的労働者諸間の各委員会が設けられました。この産業委員会は前記ILOの三機関の一つである国際労働総会を補助目的で、それぞれの産業に特有な労働、経済、社会問題を討議し、かつ決議決定をし、理事会の審議を通じた上、構成各國の政府や関係国際機関に通達を發し、通達をうけた政府はその國の各産業の労働団体にむけて、労働立法や団体協約に取り入れるよう勧告させるものです。

委員会に出席する代表は政府、労働者二名ずつ計六名で、日本側は労働婦人少年局婦人労働課長谷野せつ氏、ジュネーブ総領事伊藤建輔、労働代表、全職同盟、越智義次郎、斎藤勇、使用者代表、大日紡、小幡庄治、東洋レーヨン馬場三郎諸氏外五名の顧問が選ばれました。わが国繊維産業が国際的に高い地位を占めていることは云々までもありませんが、他面、過去に於てチープ・レーバ、或はソシアル・ダンピングとして国際市場で指弾されてきた事も、周知の事実で、世界に日本の繊維産業の現状を示す為、この度の代表派遣は重大な意義をもつものです。

最近の国際情勢について

福井文雄

戦争後の世界が米・ソ兩國の対立を中心にして動いているということは、幾度もいろんな人の口によつていわれたところであります。戦争中は、少くともルーズヴェルトあたりの考へとしては、戦時下の米・英・ソ三国の協力をそのまま直ちに戦後の世界平和の建設に移しかえようと思ひ、またそうすることが出来ると信じていたようであります。

ところがその後の世界の動きは、不幸にして米・ソの対立が激しくなり、国際情勢は米・ソの対立斗争を中心に動くようになってしまひ、今後の世界の動向を考えるにはこの二國がどのように動くかといふ点から出發しなければならぬと思ひます。

一体、戦後のアメリカの対ソ政策の根本になつてゐるコンテンメント・ポリシー(封じ込み政策)は、つい先頃召還を要求された駐ソ大使ジョージ・ケナン氏が國務省の政策企画課長をしてゐる時に立案したもので、次に簡単にケナン大使の書いたものから紹介してみましよう。実は、アメリカのソ連研究はそんなに進歩してゐなかつたやうで、殊に戦前は地理的に非常

に離れた國であるし、資本主義國と共産主義國といふ点からも些かの好意も持つていない。ところが戦時中からソ連の力が非常に強大なものであるといふことがわかつてきた、アメリカにとつて一番恐威の的になるべき相手であるといふことになつてきて、初めて眞剣にソ連研究が考へられるようになったといえます。ケナン氏は昔からソ連に駐在し、ヨーロッパにいる頃からも相當深くソ連に接觸してゐたので、彼が國務省の中心となつてソ連の研究を始めたわけでありま。

ケナン氏によりますと、ソ連は資本主義國といふものは必然的に倒れるというマルクスの理論を礎にする共産主義國である。マルキシズムの教えた理論は、あくまで現在の資本主義制度を分析し、その中の矛盾から資本主義は必然的に倒れるといふ、倒れた後の社会主義はどのような形のものかについては殆ど示してゐない。(歴史的探究・學問として當然であるが)。レーニン達は革命を起したが、後に建設する共産主義社会の具体的な形態は教えられてゐなかつた。とにかく、資本主義的色彩を徹底的に一切排除しなければならぬといふ考への下

に、ソヴェト政権を徐々に強化していつた……と解釈してゐます。

しかもソ連の革命直後、日本、アメリカのシベリヤ出兵、またイギリスの軍隊派遣といつたことでボルシェヴィキは世界の資本主義國の反革命勢力に非常に苦しめられた経験を持つてゐる。そこで尙更のこと内外の資本主義的勢力を一掃しなければならぬ……といふことになりました。より有効的に反對勢力をなくするためには独裁政権を確立しスターリンをその頂上に戴き一切の批判を許さず党内の結束をかため、すべての判断は先ずクレムリン——スターリンの線によつて、イデオロギーではどうすることもできないような客観的な障害物に打ち當るまで突進する。客観的な事実をささげられて初めて相手の存在を認める。それ迄は決して他の意見を聞こうとしない。こういうソ連の政権の在り方がそのまゝソ連の国民、役人、外交官達のすべてクレムリンの命ずるままに……といふ考へ方を決定してゐる。ここに一つの特長性があるわけでありま。

いま一つ對ソ連の外交政策で非常にやりくりの点があります。即ちマルクスは資本主義の必

然る倒壊を予言したけれども、何時倒壊するかという時日の約束はしていない。これがソ連と話合う時に非常に困る点であります。例えば或る国で資本主義が爛熟して倒壊する徴候が見えてきたとする。その国の共産党は革命の前夜が来たといつて運動を起す。ところが革命に失敗したとする。普通なら、ああ、もう駄目だ、と考えるところを共産党の場合は、まだ革命の時機が熟していなかったから失敗したのだ、次の好機を待とうということになる。諦めないで絶えず次のチャンスを狙い何時かは革命をやるうとしてゐる。少しでも隙があれば水のように浸み込んで蟻の穴でもつくることに成功すれば、大きな堤を壊そうと努力している。このようなソ連の共産主義勢力の浸透に対抗するには、客観的な障壁事実をつくるより他に方法がない。この流れる水を受けとめて中に押し込めようというのがケナンのコンテンメント・ポリシーであります。

最初の現われは一九四七年のギリシャ、トルコへの援助で、バルカンがダーダネルス海峡方面に南下しようとするソ連勢力を、ギリシャ、トルコに経済的軍事的援助を与えることによつて防禦しようとした。

次に一九四八年の後半から始められたマーン・ヤル・プラン——西欧の経済情勢を好転させて共産主義の温床ともいふべき貧乏を無くして共産勢力の侵入を防ぐ防波堤である。

一九四九年に調印された北大西洋条約は、これを更に軍事的に裏付けようとしたもので、北アメリカ、ヨーロッパの十二ヶ国で北大西洋の

防衛同盟をつくり、そのうちの二国が外国から攻撃を受けた時は、他国が援助するという約束をしたのであります。

このようにアメリカの政策はソ連の周辺に一つの経済的にも軍事的にも強固な地帯をつくり、ソ連の侵略を封じ込めようとしてきたわけで、その後ギリシャ、トルコが北大西洋条約に加盟して防波堤は中東近くまで延長され、太平洋方面でも日・米安全保障条約の締結、アンザス条約と呼ばれる濠洲、ニュージーランド、アメリカ間の条約、またアメリカ、フィリピン間の安全保障条約等によつて、自由諸国間の共同防衛体制をどんどん進めてきたわけであります。

アメリカの大統領選挙を争つた共和党も民主党も、ソ連の勢力を力で防ごうということだけについては全く同じであります。ただこの両派の違いは封じ込み政策の度合にあつて、最近のアイゼンハワーは非常に共産党嫌いの多い共和党内の赤化防止の空気に多少動かされたのか、従来よりも相当強硬なロール・バック（巻き返し）政策ということまでいつております。今までの封じ込み政策はソ連側が出てくる危険のある処に提防を築いて入られないように防ぐという、どちらかといえば受身の立場であつたのを、もつと積極的に今迄伸びてきた共産勢力を彼等自身の内側に巻き返そうというのであります。

勿論これまで封じ込み政策についてはいろいろ議論があつて、封じ込めるといつても一体どの線まで封じ込めるのか、鉄のカーテンの外側で封じ込めるのか、それともソ連勢力をうんと押

に向わぬよう、出来ればその国に革命が起るようにする。三つは、資本主義国とその植民地間の、原料獲得、製品市場拡大等から起る利害の対立を激化助長させることによつて、資本主義国の国力を弱め、結局は対ソ戦力を低下するようにしたい。これらが対外政策の中心であります。

朝鮮事変を契機として、アメリカ側を中心とした封じ込め政策は一層強化されて来たわけですが、これに対してソ連は、ソ連は決して戦争をしようとしてゐるのではない、と宣伝することとが結局西欧側のソ連に対する包圍陣の形勢を弱めることになるので、一昨年あたりから非常に平和宣伝を開始してあります。ことに日本とドイツが米英側について再軍備されるとなれば、……また日独がアメリカの封じ込み政策の大きな拠点となつて対ソ干渉の先鋒に立つというようなことがあれば、ソ連にとつて大変なことになる、ソ連の立場で非常に心配してゐる点でありましょう。せめて中立政策をとつてくれ、米英の思い通りに再軍備してソ連に当らないようにしてほしいわけでありましょう。

最近ソ連の「ボルシェヴィキ」という雑誌にスターリンが書いてゐるなかに、「今日世界には資本主義国とソ連との戦争の危険があるといつてゐるが、もし資本主義国がソ連に対して戦争をしかけてくるならば、それは資本主義の自滅を意味するものである。むしろ戦争の危険性は、資本主義国相互の間に非常に多い。例えば今日イギリスやフランスはアメリカの援助を受けてゐるが、やがてアメリカの支配を脱しよう

し返してソ連の内部だけに押し込めようのか、この点がはつきりしないという意見がありまして、アイクのロール・バック政策はソ連の近郊まで封じ込み政策を漸次押し進め、鉄のカーテンの中で共産党に苦しんでゐる東ヨーロッパや中共の国民を解放しようという積極的なものであります。つまりコンテンメント・ポリシーを更に前進せよというのであります。

今日東欧、中共の人達がソ連をどう考えてゐるかは別として、彼等に共産党の桎梏から脱して解放しようといつても、武器のない一般の国民が共産軍に對抗して自らを解放することは不可能に近くアメリカの政策、武力的な援助がなくては行われない。アメリカが軍隊を派遣し武器を供給することになれば、結局アメリカの欲しない戦争を起さざるを得ないことになり、ロール・バック政策が一面非常に危険なものを含んでゐるといわれるわけでありまして、従つてアメリカ内部でも相当批判があり、北大西洋軍参謀長グリュンサー将軍も、「實際問題としてロール・バックは行われぬ。これは戦争を意味するから……」と反対してゐます。

何れにしても今日のアメリカの政策は、ソ連に対してコンテンメント・ポリシーをとることには確かで、その範圍を拡げて西ドイツを味方の線に置き、或いはまた日本の潜在軍力をも考慮に入れるということになつておりますので日本に對し自衛力の強化を要求することは將來当然起り得ることと考えられます。

一方ソ連はアメリカ側のこの政策を非常に心

とするだろう。又日本、ドイツも、今日こそ軍備はないが、アメリカの援助によつて、普通の軍国主義国になつてアメリカに對抗するようになる。つまりそのようにして資本主義側の間に戦争がより以上に起る必然性がある。」といつております。つまり米・ソ間に戦争の危険はないということ、一面ソ連の平和政策に通ずるもので、包圍陣をできるだけゆるめさせようという目的があり、資本主義国相互間の離間策を狙つてゐるわけでありまして。

このような状態で、今日アメリカ側は封じ込み政策を強化しようとし、ソ連側は出来るだけやらせまいとする。ことに東に日本、西に西ドイツが自由国家側の手によつて再軍備されようとしてゐることは、ソ連の頭痛のタネとなつてゐます。ソ連の理論からいへば、共産主義が資本主義かで本来は中立の立場など考えられないのですが、当面の問題としては、とにかく日本、ドイツは少くとも中立の状態で、アメリカ側に協力してソ連に對抗して貰いたくないのであります。ここに日本をめぐる米・ソの動き、圧力が一層激しくなつてくるだろうと思ひます。それだけに我々としても、より一層慎重に考えていかねばならないと思ひます。

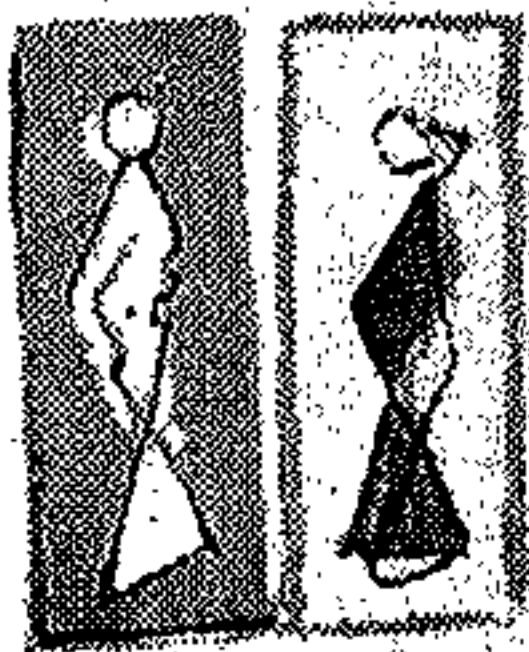
（朝日新聞 論説委員）

本稿は「国際問題講演会」における講演の速記を、編集部が部分的に要約したものであります。特にことわりしておきます。

配してゐる。アメリカ側のいうように必ずしも防禦的なものとは考えず、ソ連に対して戦争をしかけると思つております。ソヴェト革命の父レーニンの帝国主義理論によると、資本主義国家は、利潤を目当てとする生産競争の結果生産過剰になり、恐慌を起す。また原料補給、製品の市場拡張のために植民地を獲得しようとして戦争になる。これをさけるため市場を争つて資本主義国間で戦争するが、やがてソ連に共同して戦争をしかけてくると考えてゐる。こういう理論に立つソ連側からみれば、第二次大戦前の日独伊防共協定以来今日の封じ込め政策に到る資本主義諸国の態度は、レーニンのいつた対ソ範圍である。これを何とかして防がなければならぬが、武力にかけて争うには、まだ、アメリカ側程の生産力を持つてゐない。この間マレーンコフの發表した一九五二年の生産力でも、昨年のアメリカの僅か四割に過ぎず、スターリンが演説した一九六〇年の予想生産力すら、まだ一九五〇年のアメリカに及ばない位で、将来の長期戦に対してとつても勝ち目が無い。だからアメリカの封じ込め政策をどのようにして弱めるか、いかにして戦争まで持つていかないようにするかに腐心してゐる。その政策は大體三つあり、一は資本主義国間の離間をはかり一致してソ連に干渉しえないようにする。その二は、資本主義国が帝国主義的傾向を深めるに従つて起る国内の労資対立を期待し、資本家に対する反感から労働大衆を次第に社会革命の方向に進ませよう、側面から援助し、誘発させることによつて、その国の戦力がソ連攻撃

若い世代の一断面

森田宗一



A 子は夜毎に売春をしているという嫌疑で罰せられ、昂然とした様子で言つた。「わたしは何も悪いことをしたわけではない。昼間学校——某女子大に通つてゐるので、アルバイトをやつていたにすぎない。自分の体の一部を自分で使うのは自由ぢやあないでしようか。肩のつよい人がカッギ屋をやり、指先の器用な人がタイプを打ち、弁舌の達者な人がアウツサーになり代議士になる。みんな自分の得意な物の一部分を利用してかせぐのですわ。」當るべからざる怪理論である。けばけばしい洋装、思ひきつて高いハイヒール、眞赤にそめたツメ、濃い口紅、髪を組んで昂然とした態度と共に、總べてが内心の不安を無理にとりつくろふ爲のものである。劣等感の補償作用とも見られる。そして彼女はその内心にひそむ不安感と劣等感を全然忘れたかのやうな實感をペラ／＼とのべる。その言葉の論理そのものが、これまた不安と劣等感の姿をかえたあらわれであるといふことには全く気がつかない。

B 子には中絶の家庭に育つたが、女学

たりや重い空気にあきたらず、いつしか解放感を求める気持ちにとらわれていた。一年程前、東京の伯父の家へ寄宿して洋裁を習うという理由で家庭を離れた。初めはその通りに洋裁も習い、伯父の家に安定していたが、次第に交際の範囲もふえ、見なれぬ世界にも触れるうち何でも色々やってみた、ためしてみた、という慾望にかられた。榮養士になるのも面白いだろうなどと考えクッキング・スクールにも一寸通つた。伯父の会社の事務員にもなつたことがある。そのうち彼女は、遊び友達で紹介で、あるバンの女給になつたのである。あまり困苦しい仕事よりも自分さえしつかりしていれば、こうした生活の方がよほど面白そうだなと思つてみた。古風な郷里の家庭の者には想像もできない生活のvarietyであつた。ある時彼女は客引きのいき過ぎから風俗営業取締違反といふことで罰金をうける破目になつた。呼出をうけた彼女の父親はすっかり驚いてしまつた。こんな前売に入りこんでいることすら、父親には「けしからぬ事」と思われるらしい。しきりに説教をし意見を加

たがれた。

以上A、B、C、D、四人の若い男女のケースは、いづれも私が直接間接取り扱つたものである。今日における若い世代の生活と時代相のほんの一部であるとはいへ、その一断面を示したものとえよう。これ等のケースに対して、それは所謂アレだ、困つた者だ、などと道学清流に言つていただけでは、問題は一向に解明されない。われわれは何よりも、彼等が成長して来た過去十数年の時代的な背景を理解し、今日の社会的條件を考えねばならない。古い世代との間に大きなズレを意識している若い世代が、いかに安定感と信頼感のない境涯におかれていることか。近代社会においては、仕事というものに結びつく社会的道義や意識が非常に重要な意味をもつているといわれる。職業は個人の社会への通路であり安全の保障であるともいわれる。それなのに若い世代の目前におかれた保障はあまりに弱く乏しい。またA、B、C、D、各人の道徳感、価値判断、社会的態度はそのこと自体、確に大きな問題である。しかしこの場合とても彼等のみを責めることはできない。大人の人人の道徳的背骨（モラルバックボーン）や価値判断は確かであらうか。青少年の問題の行動は社会の病的状態を診断する一番手近な検温器である。

永年小学校の教員を続けてきたある人が沿々述懐して言つた。わたくしは四十年前の方今日程教育に自信のない時はあ

え、一刻も早く家に帰をよりに主張する。ところがこの行動的でかなり明晰な頭をもつた娘のB子はいう。「お父様何もそんなにかたくなつておど／＼なさらないでもいいですわ。働き甲斐のある仕事の世界はいくらもありです。こんどのは、たまたま運が悪かつたのです。パンブツやスリをしてたわけではないのです。お客を無理に店につれこもうとしてるところをあいにくお巡りさんに見つかつただけなのよ。……それに郷里に帰れといつたつて魅力のない重苦しい田舎の生活を考えると足は重いわ。お嫁に行つたところでお母様やお姉様以上の生活は考えられませんか。お嫁にいつて子供を産んで、お母様やお姉様や多くの農村の女の人たちが、何十年何百年となく繰りかえして来た、ただ黙々と牛や馬のようになつて働くだけのあの生活と思つと、わたしには自信がないのです。つらいのです。それでも帰らねばならないのでしようか。わたしは今の仕事が悪いというなら、何でも探し歩きますわ。……

C 少年は十八才であるが、見上

りません。子供たちがよいことをした時

に本當に心からほめ、悪いことをした時確信を以て叱つたり罰したりすることができないのです。何かうつろななしさが残るのです」と。この誠実な老教育家の悲しい告白は、家庭の中での親の態度にもあらわれている。子供の言いなりに追従して甘やかした過ぎたり、どうにも仕方なくなると、たゞ怒鳴つてなぐることしかできない親、賞罰に自信を失つたおとなが何と多いことか強いて言えばこれらも大人の社会にひそんでいる道德的カリエス症状の一徴候と見てもよいだろう。

A子の怪理論と昂然とした態度はなが続きはしなかつた。その後ある会社の事務員として就職し、女子大卒業後の目安もついた頃には、彼女自身が羞らいながら過ぎた日を追想する程であつた。『あの頃先生には随分失礼なこと申しましたわね。』劣等感も不安感も、もはや彼女の姿から探し出すに困難であつた。B子は農村家出の娘に少くないタイプである。私は彼女の思慮の不足をたしなめながら、彼女の父への抗議の言葉のうちに日本の家族制度の中の女の一生に対する新しい時代の訴えを感じないわけにはいかなかつた。篤農家の父と娘との言葉のやりとりを聴きながら、私ははてしないぬかるみの様な農村の重苦しい暮しを連想し、ためすことの容易に許されない事柄にまで、トラリアル・エンド・エラーの史証主義の横行する行き過ぎた混沌の都市生活をもつたのである。

二、三才にみえる位、身となしを言葉が
もはや少年の域を出ている。洋服の着こ
なしもなかなかニョールックである。父
親は三十年一日の如く会社づとめで、あ
くせくと余裕のない生活をしている。家
庭ではいつも安月給をこぼし、面白味の
ない暮しを義務的につつける。母親のこ
ぼすことは、夫の月給の少ないこと、

い。娘はもう少し気のきいた人と結婚したい。……」などという愚痴である。C少年の耳にはそれがこびりついて来たもののようである。父がいかにあわれな存在に思われ、ただ勤勉にあくせくと働く安月給の人々が馬鹿に見えてたまらなかつた。やがて彼は通学していた学校をやめて、友達の仕事を手伝うのだと言ひ出した。その時から飛躍的に常識を逸脱した行動を示してきた。寧ろれば持前の才智と弁舌を以て人をあざむき、多額の金を手に入れる。すでにその額は数千万円にのぼるといわれる。刑事問題にまでなつて、親は世間への顔向けもできないと生きた心地もない程の謹慎ぶり。とそころが彼は案外平気である。罪を犯したという深刻な気持は勿論、悩んだり後悔したりする風も見られない。やりそこなつた。へまをしてしまつた……」という敗感だけが、彼のいつわらない心境のうである。

D 青年は二十一才の某大學夜間部通つてゐる青年である。彼は父の死後人の弟妹をかかえて苦闘する母を助

如実にあらわれているといえよう。それにもまして幼少の時代から両親の不平等な家庭で植えつけられたものを見逃し得ない。与えられた自己の職業と目の生活への蔑視は、かかる親の下に育つ子供を意外な方向に迫りやるものだということとを忘れてはならない。かくして培われた怠惰癖、勤労意欲の欠乏は容易に救済し難いものである。D 青年のケースは、最近人の耳目をそばだてた騒擾事件参加の青少年の一典型である。思想の問題よりもむしろ底を流れるのは、依然たる不安感と反抗的心情である。職業というものを通して、社会生活に安定を見出し得ず、信頼する先輩友人との接触のないままに、次第に某先生一辺倒になつて行つた心情にわれわれはまず溫い理解を持ちかねばならない。

「何が本當に善いことで何が悪いことももつとはつきりわかるように教えてもらいたい。実験したりためしたりしてよいことと、ためしてはならぬこととのけじめをよく教えてもらいたい。子供たちは混亂の世の中にとまどいしながらこう訴える。『職業や仕事を通じて社会に安定感を持ち、将来に見透しを得たい。』若い世代は悩みつゝ訴える。こうした訴えをよく聴き、これに應える確かな原理と方法を確認し、安定のある途をきり拓くことは今日の時代になおさりにすることのできない務である。

（東京家産裁判所審判官
安福省 P.T.A 審議会委員）

如実にあらわれているといえよう。それにもまして幼少の時代から両親の不平等な家庭で植えつけられたものを見逃し得ない。与えられた自己の職業と目の生活への蔑視は、かかる親の下に育つ子供を意外な方向に迫りやるものだということとを忘れてはならない。かくして培われた怠惰癖、勤労意欲の欠乏は容易に救済し難いものである。D 青年のケースは、最近人の耳目をそばだてた騒擾事件参加の青少年の一典型である。思想の問題よりもむしろ底を流れるのは、依然たる不安感と反抗的心情である。職業というものを通して、社会生活に安定を見出し得ず、信頼する先輩友人との接触のないままに、次第に某先生一辺倒になつて行つた心情にわれわれはまず溫い理解を持ちかねばならない。

「何が本當に善いことで何が悪いことももつとはつきりわかるように教えてもらいたい。実験したりためしたりしてよいことと、ためしてはならぬこととのけじめをよく教えてもらいたい。子供たちは混亂の世の中にとまどいしながらこう訴えをもち、将来に見透しを得たい。若い世代は悩みつゝ訴える。こうした訴えをよく聴き、これに應える確かな原理と方法を確認し、安定のある途をきり拓くことは今日の時代になおざりすることのできない務である。

（東京家産裁判所審判官
安福省 P.T.A. 審議会委員）

東京家裁判所審判官
文部省PTA審議会委員

労働省では昨年四月、第四回婦人週間を記念して、日本放送協会の後援の下に「婦人の地位は高まつたか」という題目で論文を募集いたしました。一九五三通の応募作品は、神近市子、平林たい子、宮沢俊義の諸氏を含む委員会で詮衡されましたが、ここに掲載したものは「都市の家庭」「農村の家庭」「職場」「社会生活」の四つの部門の入賞作品です。

島影まち子

私達は毎日何気なく過してゐて、自分の地位が高まつたかどうかも気づかずにはいます。よく考えて見ると、いくらかでも、変化しつゝある、といえると思ひます。

第一發言がとも自由になりました。女は今まで口数の多いのをひどくいましめられ、それが離縁の一つの條件になつた時代さえあつた程でしたから、自然にいふべきこともいわず、その為いひどい不幸におち入つた女性も少くなかつたやうで、だからかりにも理屈にあつた事などおくびにも出せなかつたわけでした。それが今は夫に向つて「子供が一人増えたのですから、あなたも煙草を半分減らして下さい。子供が産まれたのは私一人の責任じゃないのですもの。妻だけが犠牲になるのは間違つてゐると思ひます」等と遠慮なしにいへて、もし頭ごなしに「夫に向つて何だ！」等とどなられでもしたら「あなたは随分封建的ですね」と堂々といえます。

これも私達の背後に民主主義という大きな後盾があつてこそ始めて出来る事だからこゝろした時代が、思ひがけずやつて來たのを、時々感謝するわけです。

派に通るものたという証拠だらうと思います。

言葉の自由は結局行為の自由を産むものらしく、先日実家の母がやつてきて「S子（兄嫁）はこの頃毎食自分だけ卵を喰べるんだよ。そして『お姑さん、私妊娠してますから栄養をつけなければなりません』ってこうなのさ」と不満そうに申しました。

私もつい感情的に母に同情してふと悪口が出かかるのをすぐ気がついて「でもお母さん、義姉さんのいうのは正しいのよ。家族の全部につける余裕のない場合には生まれてくる子供の健康のために妊娠だけでも栄養をとるのは義務ですもの。それに年寄はそんなに栄養はいらないし——」と母をたしなめたのでした。全くほんの六七年前まで、自分の子供よりも夫の両親を大切にしなければ世のそりが恐しかった嫁の立場を考えると夢のようです。「私達ば姑に仕えた。それなのに今になって又この年で嫁に仕えなければならぬ」と嘆くこうした老いた母の姿に、過去に於て固い封建性の殻の中に犠牲と忍従の長い月日を送った日本女性の不幸そのものを見る思いでした。

妹の場合はこうでした。久しぶりに夫と映画を見に行くと、映画中度々赤ん坊がむずかつて、その都度廊下へ抱いて出なければならず、筋さえろくにわからない律米なので、妹が「来ない方がよっぽどよかった。たまには代つて抱いて下さるかと思つたのに——」と恨がましくいうと、夫は「土育、女は子供を持つたら、何か觸りやうなんて無理なんだ」と平気なので、彼女は我慢出来ず「女だつて人間ですよ。楽しみかなくちや生きて生けないわ」と抗弁し、夫も不気嫌になつて「子供を樂しみに生きりやいい」と冷ややかです。そこで彼女はこんな風に申しました。「今までは子供だけを唯一の楽しみに生きて来ましたが、でもそれが間違ひの元なので、子供は母親の娯楽品じゃありません。だから楽しみに育てるなんてことは許されなないので、子供の人格を尊重して、唯幸福になるように務めるとしたら、子供を持つ事は女性にとつて実に大きな負担です」それから間もなく夫は、月に一回は子供の守りをして乍ら留守番をしてくれるようになり、おかげで妹は心ゆくまで映画を樂しめるとの事です。これは家庭に言論の自由があつて、女の意見でも正しければ立

それだけに又友人丑子行爲は華々しく目撃しいものに感じました。彼女は一秘の再婚をとやかくいえる者があるとしたら、それは草葉の蔭の夫だけでしよう。私はT家の嫁ではなく、勿論T家一族の所有物でもなく、唯Tの妻でした。だから未亡人となつた今、結婚の自由は私自身にあるので、誰の干渉も受ける筈はありません」と親戚中に公開状を放つて、絶交されてもひるみませんでした。

このように若い世代の婦人が多少行き過ぎはあつたとしても、ともかくいくらかでも前進しつゝあること、即ちその地位を高めようとしている事はやはり女性達の為ばかりでなく、日本自体にとつても喜ばしい事だと思ひます。それだけに最近しきりに復古調などといつて、過去を懐しむ思想がよみがえつたりしてくると、切實獲得した新しい女性の地位が容易にくずされて了いそうで仕方がありません。それというのもその地盤が余りにももろいように感じられてならないからです。こうして不安をのぞくには、何といつても女性自身の確固とした自覚こそ最も必要なので、それを守るのは、男性の反省であり、教養だらうと思ひます。

鹽川豐子

終戦後、私の住んでゐる富士山麓のF市では、PTAの母親の集りで、戦後の混亂状態の中で子供の教育のためにどうしても、母親の向上を計らなければならないとの話し合いから、子供の教育を中心とした婦人会が文字通り末端からの盛上りで出来上つたのが、私が引揚げて三年目の昭和二十四年三月でした。私の属するN支部はF市唯一の農村です。私は在満時代満鉄幹部の主婦として、所謂消費だけの生活が続けていました。多くの女の人がそうであつた様に主人が生活費を得、私は五人の子供の教育と家事に没頭してました。わが子だけの教育、我が家のみの生活上役の御招待に着る変つた訪問着の心配を眞剣に考へていた温床の如き毎日、その温床がいかに女の半生を多眠させていたものだつたと云う事が、引上げて生活苦に当面した時、始めて悪夢の様に思われました。主人のエンジニアとしての長い勉強と経験は一瞬に崩れ、老父と十四才を頭に五人の子供と夫婦の八人家族を養つてくれる仕事は戦後の日本にはたやすくありませんでした。何をして見てもうまくな^く、食糧事情は最悪、少しばかり残つていた田畑を開墾する以外食べる道もなく、米の木も知らない私や子供達でしたが、百姓を本業と決めたのです。主人は農家の生れとは云え小学校の時きり、家に居らず、学校の休暇に帰つて手伝う程度でした。が、生来のきかぬ氣で在来の男衆に負けない氣で夢中で働きました。色々の精神的の苦しみからか男性共通の性格だけの様になり、私が一生懸命手伝つても近所のおかみさんの様に出来ない事が、封建的な土地柄とマッチして如何に都會育ちの女が、非生産的だつたかと云う事をつくつく味わつた様です。百姓の生活に入つて見ると今までこれこそ女の仕事と思つて、而も女中と二人がかりでして来た仕事、全然考え直さなければならぬ事を知らされました。ここでは、幼児の教育は老母の仕事、母は乳を含ませるだけ、拭き掃除も子供か老母、針仕事は雨の日か夜業、洗濯は晴い内、パジャマに小花のししゅうをした事等は夢の夢。そうして、コントロールも知らない内、翌年六〇〇匁余りの女児を分娩しました。乳も出なくなり山羊乳、其の他の人工栄養で四時間立つと、田んぼから帰つて乳を飲ませ、十カ月を寝かせ、て暮しました。子供の守りをしていられたということが贅沢な事だつたと云う事束縛を始めて知りました。月一度保健所だけはかゝさず通ひ養育のグラフをつけました。

が、四年目頃から標準を越してはつと致しました。

田舎の暮しも三年目男女が一緒に働いている化粧氣一つない赤裸々の姿、今までの生活にはなかつた詩がそこにはある様な氣がしてきました。涙でばかり見つめていた靈峰富嶽は朝に夕べに共に起き共に寝てくれる様な氣が致してきました。私のこんな心の動きの時、始めに書きました婦人会の発足第一回の委員に選ばれたのでございます。何か農家の女の人で出来ない面でお役に立つ事もあればと、引揚後始めて我を取戻した様な元氣になりました。詩の様なものの歌の如きもののペンで走るにまかせて書きました。良く体が続く人と人にも云われ、我、自らも朝寝床で腰をさすりながらも、神に感謝を捧げたい氣持でした。始めて會員が婦人の日を迎えた時に、ささやかな集りを持つてお話を聞いたりめい／＼人様の前で生まれて始めて演藝を合いました。女だけの集りを持つて事等なかつた農家で月一度の婦人常会、その時間を持つて為に前日は一層仕事を廻して、楽しんで集ります。N支部の愚作の歌を作り小学校の音楽の先生に作曲して戴いて、皆さんで歌つてもらいました。平均年齢四十才位の農家の主婦達が部落の公会室に集つて、合唱している時、光明の見出す思いです。少しずつでも自分達の時間を持つてゐる様になつたと云う事それがN支部の女の人の地位の向上の一步ではないかと今は考えます。

その後支部は有能な支部長を得て発展し、四年目を迎えました。過ぐる三月の十一日には、台所改善貯金を利用して、台所見学をかね一日近くの文化都市見学を致しました。エレベーターが始めての主婦も数人いて、デパートで上つたり降りたり笑い興じました。

引揚後滿六年まだ／＼子供は育つ盛り貧乏も盛りなれば、愚痴もこぼし合いながらも、帰りの汽車にゆられ乍ら、女の人が生産力を持つと云うことの力強さを考えました。そうして時代の波にのり乍ら、自分自身で生み出す時間、それが女性の向上の一步ではないかとほの／＼とした氣持ちで東海の軍窓の姿の長さを目測するのです。

婦人の地位は向上したか



職場において

藤井 光 枝

私は絹織物の産地で名高い新潟県のG町に住み、或る織物工場に準備工として働いてゐる老女工でありまして、極めて限られた狭い視野ではありますが、職場に於ける甚だ低い婦人の地位について私の考えを述べて見ようと思ひます。その前に先づ、婦人の地位が高まつたという事はどういう事かという事を定義づけて置く必要があると思ひます。婦人が政治的に進出するとか、社会に於てまたは職場に於て重要なポストを占める事も勿論婦人の地位が向上したと謂えるでありましょうが、一般的に云つて、婦人の意思がどの程度尊重され、それが凡ゆる生活の面にどの位反映されてゐるかという事が、婦人の地位がどれ位高まつたかを決定するのではないと思ひます。人の職業の中でも繊維工業位婦人の特性に適し、婦人の労働価値を重要とする職場は少ないと思ひますが、その職場に於ける婦人の地位は、十年一日の如く縁の下力的存在であり、糸屑臭の余光さえない陰役者であるのは何故でしょうか。

婦人と年少

それは婦人自体の教養の低さと、時間的、経済的に余裕を与えない封建的な社会制度との悪循環に依るものと思われまふ。約六十軒の織物工場に、千人余りの婦人労働者が働いてゐるこの町に、一つの労働組合も結成されてないという事が、この辺の事情を物語つてゐると思ひます。

昨年の末労働基準局で従業員に對し或る世論調査がありました。貴女は労働組合とはどういふものか知つてゐますか。労働組合を結成すれば今より良くなると思ひますか。等の問に對して、労働組合は知つてゐるが組合を結成しても今より良くなると思ひない。と判で押した様な答を出してゐるのです。日頃労働時間や、公休日から賃銀に至るまで、全て一方的に決定され、不平不満の絶えない若い彼女達が一休どうしてこの様な答を出したのか理解に苦しむ理由を聞いて見ました。若し組合を結成した方がいゝと書いた事が主人側に知れた場合は、直に賃銀に影響するばかりか、場合によっては職場を追放される危険があるからとの答を聞いて、この工場には新参の私は堪へないと思ひが身に沁みた事でした。これは使用者側の封建的な圧力の強さと、働く婦人の力の弱さとの差が如何に開き過ぎてゐるかを示すものであります。また昨年の春日選挙の際に、町の機業家から出馬したボスの存在

社会生活において

西 峰 三 景

一九〇三年にパンクハースト夫人と二人の娘によつて開始された英國の婦人運動はテロリストのようなばげしい歴史を伝えており、アメリカの婦人運動はアン・ハッチンソンによつて独立戦争以前からスタートし、八回も投獄されたヴィクトリアのごとき闘士を生んでゐる。獲得された自由や参政権や経済的諸権利は血がにじんでおり、その成果はそのまま女性の地位の高さと一致してゐる。これに反して日本では、女の諸権利は一挙に法律的に与えられたものである。したがつて女の地位が高まつたか否かは、いかなる権利をもつてゐるかではなく、それがどのように行使されてゐるかによつて觀察されなければならぬ。

卒直にいえば、日本の女性は見習工が精密機械の前に立つたような当惑を感じてゐる。それは彼が永年かかつて組立てたものではなく、完成品として贈られたものであるから、いかに構造を説明されても操作に馴れるには時を要するのである。そして、ヨーロッパとアメリカで半世紀かかつたものを我々が学びはじめてから、まだ六年しかたつてゐない。

権利と現実とのギャップは、婦人代議士の数が漸増せず漸減したという点にも見出すことができる。もちろん簡単な数字で割り切れることは誤りがあるにせよ、それは女性の権利を政治的に拡張する確固たる地盤がまだ出てゐないことを示してゐる。全国婦人有権者の半数近くを占める農村の女性の投票はほとんど夫の意見に左右され、その夫たちはボス有力者たちの意見に左右されてゐる。都会においてさえ、家庭婦人の大半がそうである。封建的な夫婦関係そのものが一つの女性問題を提供してゐる場合にも、こまかな日常生活の点では争ひ妻が選挙については夫の判断にしたがうのである。従来は、結婚の幸と不幸は夫の手中にあつた。今日では少なくとも不幸な状態を永続させない権利が女に与えられてゐる。女は親権によつて結婚させられず、夫の一方的意志によつて同棲を強制されない。離婚条件によつては経済的要求もできるし、子供の処置も妻の同意を要する。だが、家庭裁判所を利用する女はきわめて一部分であり、男の恣意一方的な遺棄、虐待に忍従してゐる女はその数十倍に達してゐる。経済的独立をもたない大半の女にとつては、法律上の権利はそうたやすい武器ではない。

在の某候補者の如きは、各織物工場を廻つてやつた演説の中で、自分が當選するのではないかは、直に貴女方従業員のおどが乾くか乾かないかに直接つながる重大問題であると説得して歩き、各工場主はこれに同調して、毎晩従業員を四、五名宛當番制に駆り出し、メガフォンを持たせ声をからして叫ばせるなど、勿論無報酬で奉仕させられる有様を見ては、民主化の道遠しと感ぜざるを得ませんでした。これを要するに、婦人の地位を高めるには、婦人自身の素質の向上に俟つより他なく、それをもたらし根本的なものは、婦人の経済的独立にあると思ひます。経済的に余裕が出来れば従つて時間的にも余裕を生む事が可能となり、教養を身につけ素質の向上を計る事が出来る様になります。仕事の面に於ても単に機械の一部分の役割を果たすだけでなく、進んで研究心を持ち、自分の職業が社会に果す役割についても充分自尊心を持つべきであると思ひます。或る日若い女工達が恋愛について語り合つてゐる会話の中で、『あんたなんか兄さんが鉄道に勤めて居るんだもの、兄さんの友達といくらでも交際が出来るでしょう』と一人が云うと『うん交際しようと思へばいくらでも出来るけど』と相手から貴女は何処に勤めてると聞かれたら、だあ——ですからね——』という答だ。私は機屋の女工よ、と胸を張つて答へられる様にならなければいけないのだと思ひます。然し一面外部から張りめぐらされた強固な封建の桎梏を、彼女達の自覚に依つて盛り上げる力で打破る日を考える事は、事與百年河清を待つに等しいことなのです。また一方使用者側の反省にのみ頼る事も、打算主義の我利我利妄者は、蛙の面に何んとやらで、最近の復古風には頗る敏感なくせに、そろばん球の都合が悪い事には耳を聳しません。これはどうしても、社会的な大きな力で、封建の桎梏から解放してやる事が必要なのではないかと思ひます。婦人会や、公民館などでもこの問題に對しては、兎角臭い物には蓋式であるかのやうに思われまふ。もつと勇敢に積極的のこれらの問題を取り上げて欲しいものであります。婦人が大部分を占める繊維工業に於ける婦人の地位が、男子を主とする金属工業よりはるかに差別待遇が大きいという不合理は、男子の理解と共に、この社会的な大きな力を如何に必要とするかを示すもので、先ず封建の殻を破る事、そして温い愛情と理解を以つて、いたわり育ててやる過程にあるのではないでしようか。

だが、これだけの制約があるにしても、全般的に高まりつゝあることは何人も否定できないであらう。ラジオ、新聞、雑誌、映画、演劇、座談会、集会、学校——マス・コミュニケーションのあらゆる潮流が、無数の反作用や抵抗や逆批判を含みながらも基本的なひとつの方向をめざしてゐる。それは、国民生活のあらゆる面で女性の意志を無視できなくなつたという、熾然とした、それだけ包括的な認識である。今日、どの選挙立候補者もマイクで女性に訴へることを忘れないし、ジャーナリズムは女性欄の必要を痛感してゐる。また大半の男は、たとえ本心からではないにしても、女性に理解のある人間だと見られたがつており、もつとも封建的な夫でさえ、妻に暴力をふるうのに一種の後めたさを感じる。これらは、女にやさしく振舞うことを屈辱のように見なしたアブノーマルな抑圧心理から青年が解放されたことと相俟つて、過去六十年間に醸成されてきた大きな変化である。

しかし、いちはん重要な変化は、なんといつても女の職業の増大と、それが女の心理におよぼした影響であらう。今日では学校を卒業してから結婚するまでの期間を家庭で花嫁修業に費す娘はほとんどない。また働いて収入を得ることを特殊に感じたり難じたりする家庭もなくなつた。わかい娘たちは地位や境遇の別なく、頼りに汗して得た収入で、みづからの生活と自由を獲得することを誇りとし、燃望してゐる。しかも職種の巾はひろがりつゝあり、意欲に富んだ女たちはあらゆる職業の間隙を埋めようとしてゐる。そして働く経験は臨時的から恒久的にと徐々に移行してゐる。夫婦共稼ぎの傾向——多くは最初の出産で打切られるにせよ——はあたらしい生活の一典型となりはじめてゐる。「見るごとく、知ること、理解すること。女は人間だ」とゾフカ・クヴェーデルはさげんだ。体験を通してのみ女性に向上する。それが困難な、永い道程であることも事実である。だが日本の女たちはそれに着手したのだ。そしてそのみが、あたらしい皮ぶくろに新酒をかもすことだということをやがて彼女たちは理解し、実証してみせるであらう。

☆

☆

☆

☆

藤田	たき	昭和26年8月より婦人少年局長
堀秀夫		昭和22年9月～23年8月 婦人少年局 年少労働課長 現労働大臣官房総務課長
谷野せつ		昭和22年9月より婦人少年局婦人労働課長
中垣獅子郎		昭和22年9月～25年3月 婦人少年局書記長 現大臣官房会計課調度班長
徳永花江		昭和23年4月より婦人少年局年少労働課勤務
中島長吉		昭和22年9月より婦人少年局婦人課勤務
藤原栄子		昭和22年9月より婦人少年局婦人労働課勤務
神近市子		婦人少年協会々長（評論家）
藤本喜八		昭和23年8月～24年9月 婦人少年局年少労働課長 婦人少年協会副会長（立教大学教授）

六員構成や仕事の内容が一寸も

地方の分については、基準局に依頼するということに、意

これはわたしが北海道へ行くの點ですが、主任が、自分

藤田 初めは、いわゆる基準
の解釈の問題というのが、ず

うしてこれが危険なのか……

堀 それから就職許可申請書 持たせるというところまでし
なんかも、初めはうまく行くか よう(笑)

最初の仕事
中島 婦人少年局の最初の仕
事、給を揃くことでした。ね。
その方の専門の方が、職員にな
つておつて……

藤本 それから生理休暇の問
題とか、寄宿舎なども、問題が
ありましたね。

谷野 また沖仲仕とか出札係
トとか給を使うトツプだったで
すね。

中島 婦人少年局の仕事が軌道に
乗つたのは、二十四年からで、
そのころの仕事としては、指導
方針がまだきまつていないもの
ですから、いろいろと相談をし
まして内職のあつせん、例えば
内外輸出品の手内職の仕事だ
とか、また給の世話をする主婦
にやらせるというようなことま
でしたことあります。

藤本 婦人少年局で、そんな
ことでやつておつたの……

神近 つまり一人一人の考え
つたことをそのまゝやつたん
ですね。

中島 それから来亡人の生活
物でも、安は持たないで、男に
して……

谷野 え、押しかけて来た
ことがありましたね。けれども
これについてのアメリカの考え
方は、女に重いものを持たせる
のは日本だけのことで、アメリ
カでは、そういうことはしてい
ないというので、絶対駄目だ
ということでした。

神近 それは向うでは、起重
機などが使われておりましたか
ら、そういう仕事は少なくなつて
でしょうね。

藤本 それに、ちよつとした
物でも、安は持たないで、男に
して……

中島 それから来亡人の生活
物でも、安は持たないで、男に
して……

谷野 え、押しかけて来た
ことがありましたね。けれども
これについてのアメリカの考え
方は、女に重いものを持たせる
のは日本だけのことで、アメリ
カでは、そういうことはしてい
ないというので、絶対駄目だ
ということでした。

神近 それは向うでは、起重
機などが使われておりましたか
ら、そういう仕事は少なくなつて
でしょうね。

藤本 それに、ちよつとした
物でも、安は持たないで、男に
して……

中島 それから来亡人の生活
物でも、安は持たないで、男に
して……

谷野 え、押しかけて来た
ことがありましたね。けれども
これについてのアメリカの考え
方は、女に重いものを持たせる
のは日本だけのことで、アメリ
カでは、そういうことはしてい
ないというので、絶対駄目だ
ということでした。

神近 それは向うでは、起重
機などが使われておりましたか
ら、そういう仕事は少なくなつて
でしょうね。

藤本 それに、ちよつとした
物でも、安は持たないで、男に
して……

中島 それから来亡人の生活
物でも、安は持たないで、男に
して……

藤本 それは先年、あれでし
よう。完璧な調査というのには、
悉皆調査を予想しているのじゃ
ありませんか。今は抽出調査の
方が流行です。

藤田 抽出ですから、相当科
学的基礎をもつてやつていま
す。どつちかといふと、む
しろ抽出の方が正確なんじやな
いでしょうか。

藤本 それはアローマンスは
つけて発表していますよ。当然
誤差は入っています。

谷野 絶対うちものものは完
善ですよ。

神近 それだけの信びよう性
をもつておられますか。

谷野 調査したものについて
は、少しでもあやしい点がある
と私の方で何度でもこれをたし
かめ、絶対に正確なものを発表
しています。

藤本 すると局で、そういう
調査に提出した最初というの
は……

中島 先程申した全国女世帯
生活調査調査

谷野 わたしの方は、最初二
十三年に製糸に働く女子労働者
実態調査をやりました。

藤本 その翌年が製糸紡績で
すか。

谷野 ところが、製糸の調査
は……

藤本 それは先年、あれでし
よう。完璧な調査というのには、
悉皆調査を予想しているのじゃ
ありませんか。今は抽出調査の
方が流行です。

藤田 抽出ですから、相当科
学的基礎をもつてやつていま
す。どつちかといふと、む
しろ抽出の方が正確なんじやな
いでしょうか。

藤本 それはアローマンスは
つけて発表していますよ。当然
誤差は入っています。

谷野 絶対うちものものは完
善ですよ。

神近 それだけの信びよう性
をもつておられますか。

谷野 調査したものについて
は、少しでもあやしい点がある
と私の方で何度でもこれをたし
かめ、絶対に正確なものを発表
しています。

藤本 それは先年、あれでし
よう。完璧な調査というのには、
悉皆調査を予想しているのじゃ
ありませんか。今は抽出調査の
方が流行です。

藤田 抽出ですから、相当科
学的基礎をもつてやつていま
す。どつちかといふと、む
しろ抽出の方が正確なんじやな
いでしょうか。

藤本 それはアローマンスは
つけて発表していますよ。当然
誤差は入っています。

谷野 絶対うちものものは完
善ですよ。

神近 それだけの信びよう性
をもつておられますか。

谷野 調査したものについて
は、少しでもあやしい点がある
と私の方で何度でもこれをたし
かめ、絶対に正確なものを発表
しています。

藤本 すると局で、そういう
調査に提出した最初というの
は……

中島 先程申した全国女世帯
生活調査調査

谷野 わたしの方は、最初二
十三年に製糸に働く女子労働者
実態調査をやりました。

藤本 その翌年が製糸紡績で
すか。

谷野 ところが、製糸の調査
は……

藤本 それは先年、あれでし
よう。完璧な調査というのには、
悉皆調査を予想しているのじゃ
ありませんか。今は抽出調査の
方が流行です。

藤田 抽出ですから、相当科
学的基礎をもつてやつていま
す。どつちかといふと、む
しろ抽出の方が正確なんじやな
いでしょうか。

藤本 それはアローマンスは
つけて発表していますよ。当然
誤差は入っています。

谷野 絶対うちものものは完
善ですよ。

神近 それだけの信びよう性
をもつておられますか。

谷野 調査したものについて
は、少しでもあやしい点がある
と私の方で何度でもこれをたし
かめ、絶対に正確なものを発表
しています。

堀 それから就職許可申請書 持たせるというところまでし
なんかも、初めはうまく行くか よう(笑)

最初の仕事
中島 婦人少年局の最初の仕
事、給を揃くことでした。ね。
その方の専門の方が、職員にな
つておつて……

藤本 それから生理休暇の問
題とか、寄宿舎なども、問題が
ありましたね。

谷野 また沖仲仕とか出札係
トとか給を使うトツプだったで
すね。

中島 婦人少年局の仕事が軌道に
乗つたのは、二十四年からで、
そのころの仕事としては、指導
方針がまだきまつていないもの
ですから、いろいろと相談をし
まして内職のあつせん、例えば
内外輸出品の手内職の仕事だ
とか、また給の世話をする主婦
にやらせるというようなことま
でしたことあります。

藤本 婦人少年局で、そんな
ことでやつておつたの……

神近 つまり一人一人の考え
つたことをそのまゝやつたん
ですね。

中島 それから来亡人の生活
物でも、安は持たないで、男に
して……

谷野 え、押しかけて来た
ことがありましたね。けれども
これについてのアメリカの考え
方は、女に重いものを持たせる
のは日本だけのことで、アメリ
カでは、そういうことはしてい
ないというので、絶対駄目だ
ということでした。

神近 それは向うでは、起重
機などが使われておりましたか
ら、そういう仕事は少なくなつて
でしょうね。

藤本 それに、ちよつとした
物でも、安は持たないで、男に
して……

中島 それから来亡人の生活
物でも、安は持たないで、男に
して……

谷野 え、押しかけて来た
ことがありましたね。けれども
これについてのアメリカの考え
方は、女に重いものを持たせる
のは日本だけのことで、アメリ
カでは、そういうことはしてい
ないというので、絶対駄目だ
ということでした。

神近 それは向うでは、起重
機などが使われておりましたか
ら、そういう仕事は少なくなつて
でしょうね。

藤本 それに、ちよつとした
物でも、安は持たないで、男に
して……

中島 それから来亡人の生活
物でも、安は持たないで、男に
して……

谷野 え、押しかけて来た
ことがありましたね。けれども
これについてのアメリカの考え
方は、女に重いものを持たせる
のは日本だけのことで、アメリ
カでは、そういうことはしてい
ないというので、絶対駄目だ
ということでした。

神近 それは向うでは、起重
機などが使われておりましたか
ら、そういう仕事は少なくなつて
でしょうね。

藤本 それに、ちよつとした
物でも、安は持たないで、男に
して……

中島 それから来亡人の生活
物でも、安は持たないで、男に
して……

藤本 それは先年、あれでし
よう。完璧な調査というのには、
悉皆調査を予想しているのじゃ
ありませんか。今は抽出調査の
方が流行です。

藤田 抽出ですから、相当科
学的基礎をもつてやつていま
す。どつちかといふと、む
しろ抽出の方が正確なんじやな
いでしょうか。

藤本 それはアローマンスは
つけて発表していますよ。当然
誤差は入っています。

谷野 絶対うちものものは完
善ですよ。

神近 それだけの信びよう性
をもつておられますか。

谷野 調査したものについて
は、少しでもあやしい点がある
と私の方で何度でもこれをたし
かめ、絶対に正確なものを発表
しています。

藤本 すると局で、そういう
調査に提出した最初というの
は……

中島 先程申した全国女世帯
生活調査調査

谷野 わたしの方は、最初二
十三年に製糸に働く女子労働者
実態調査をやりました。

藤本 その翌年が製糸紡績で
すか。

谷野 ところが、製糸の調査
は……

藤本 それは先年、あれでし
よう。完璧な調査というのには、
悉皆調査を予想しているのじゃ
ありませんか。今は抽出調査の
方が流行です。

藤田 抽出ですから、相当科
学的基礎をもつてやつていま
す。どつちかといふと、む
しろ抽出の方が正確なんじやな
いでしょうか。

藤本 それはアローマンスは
つけて発表していますよ。当然
誤差は入っています。

谷野 絶対うちものものは完
善ですよ。

神近 それだけの信びよう性
をもつておられますか。

谷野 調査したものについて
は、少しでもあやしい点がある
と私の方で何度でもこれをたし
かめ、絶対に正確なものを発表
しています。

藤本 それは先年、あれでし
よう。完璧な調査というのには、
悉皆調査を予想しているのじゃ
ありませんか。今は抽出調査の
方が流行です。

藤田 抽出ですから、相当科
学的基礎をもつてやつていま
す。どつちかといふと、む
しろ抽出の方が正確なんじやな
いでしょうか。

藤本 それはアローマンスは
つけて発表していますよ。当然
誤差は入っています。

谷野 絶対うちものものは完
善ですよ。

神近 それだけの信びよう性
をもつておられますか。

谷野 調査したものについて
は、少しでもあやしい点がある
と私の方で何度でもこれをたし
かめ、絶対に正確なものを発表
しています。

藤本 すると局で、そういう
調査に提出した最初というの
は……

中島 先程申した全国女世帯
生活調査調査

谷野 わたしの方は、最初二
十三年に製糸に働く女子労働者
実態調査をやりました。

藤本 その翌年が製糸紡績で
すか。

谷野 ところが、製糸の調査
は……

藤本 それは先年、あれでし
よう。完璧な調査というのには、
悉皆調査を予想しているのじゃ
ありませんか。今は抽出調査の
方が流行です。

藤田 抽出ですから、相当科
学的基礎をもつてやつていま
す。どつちかといふと、む
しろ抽出の方が正確なんじやな
いでしょうか。

藤本 それはアローマンスは
つけて発表していますよ。当然
誤差は入っています。

谷野 絶対うちものものは完
善ですよ。

神近 それだけの信びよう性
をもつておられますか。

谷野 調査したものについて
は、少しでもあやしい点がある
と私の方で何度でもこれをたし
かめ、絶対に正確なものを発表
しています。

色は 明るいネーグイ、
アリユウ

A simple line drawing of a woman standing, wearing a short-sleeved, knee-length dress with a ruffled hem. She has her hands clasped in front of her. The drawing is minimalist, using only black outlines on a white background.

しばらく暖い日が続いています。此間から婦人選挙権かく得運動がジュネーブを中心に展開されて、請願署名が今日で何万人になつたと毎日の新聞を賑わしています。がベルリンではそんなことはどこふく風だといつた様子で街はクリスマスの買物の婦人で賑わつて居ります。

この国でうらやましいのは、誰もが一樣に富んでゐる、最低生活者のレベルが大へん高いことです、恐らく世界のどこよりも高いでせう。これが文化だと思います。どうしてこんなにこの国は豊かなのが、ときくと、だれの答えもき

まつて、それは吾々がよく働らくからだ、スイスには資源は全くない、たゞ民衆の勤勉のみだというのです。男子も女子もまことによく働らいて居ります。宵序は朝七時十五分に初まつて昼二時間休けいの、夕方七時まできつちりやつて居ります。田舎の小工場に行けば週五〇時間を課することはどうかと思うが、職業選択と就職後の適応のためにたいへん役立つと思ひます。

職業指導といへばイギリスでもオランダでもフランスでも、このスイスでも、今日大へん普及しています。いずれも労働省又は厚生省の所管で、義務教育の最終学年に学校を出かけて、やつて居ります。フランスでは会社の志願の書類に職業指導を受けたことが必要條件としてあげてあるので就職したいものは誰もがこれを受けなければならぬことになっています。そのやり方がどこの国でも大へん懇切で、初めに父母と、児童と別々に面会していろいろ必要なことをきいて相談し、次は、学校の受持の先生と相談し、次に三者を会して相談し、大てい二三回づゝ話し合うので、一日ではすみません。その上に適性検査をする、フランスには国立の中央研究機関があり、イギリス、スイスでは私立のそれが方法の指導にあたっている。オランダ

夕は國際職業訓練會の支店としてその役職を
厚生省内でやつていて、いずれもその方法をた
えず研究しています。児童はこの相談の結果、
自分の就職の方向をきめるに大へん利益を得て
いる。ことに地方の女子がどんな方面に進むか
についての良い相談相手となつています。二十
年前にこちらに來たときは、どの国でも學者や
篤志家の手が發足したばかりの時で、その理想
や計画をきくのみであつたのが、今は全国すみ
ずみまで行きわたつて、公の仕事となつており
ます。

28
スイスの山間の村落にある家庭の婦人のため

をこえるものがさらにあります。商店もそれに準じてやつて居ります。

この国では十六才が労働最低年令で、十四才で義務教育を了えて、工場に働きたいものは一年の職業予備教育をうけます。女子はこゝではその間主として家事、裁縫と普通教育をやつて、工場に行きます。工場では三ヶ月程度の見習工期間を経て現場で働らきます。スイス独特の精密機械工場にもかなり女子が居ります。ベルリンの有名な通信機と自記計測機械を作つてゐる工場では精密せんばんに男子と並んで沢山の女子がやつてゐる。丸棒を切つて大きな八角形の品物を削るに、一台の自働フライス盤に同時に二個かけたものを二台受持つてゐる。一時に四個出来るかん定です。賃金は男子同僚と全く同一です。全く設備の優秀さが然らしめてゐるわけです。

イギリスの繊維工業や菓子工場にも沢山の女子が働いています。これも十六才から工場に入るの、その前の一年間、将来就こうとする職業を中心として全日制の職業予備教育をうけています。この一年間こゝでは実技はあまりやらないで、普通教育を主とした職業教育をや

の學校も注目に値します。山林業と牧畜を主とししいる山深い村落に、主婦や娘さんたちのための學校で、その教える内容が、それらの主人たちの仕事の上のことを主としているところに、意味があります。

(十二月三日　ベルリンにて)

イギリスのある労働者の家計について

／＼時は昭和二十七年（一九五二年）秋。ところ
はロンドン市の西区のバッテリーの住宅街。
街路樹の黄金色の葉がひらひらとうす白い秋の



目ざしの中を散つてい
る。語る人は四十五才
くらいの、ものかたい
イギリスの庶民の代表
のような感じのする、
明るいがつちりした主
婦である。

私の主人は長年北テームスのガス局に勤めてゐる機関組立工です。長年住んでいた家は今度の戦争で爆撃にあつたため、家財道具一切をなくしました。

フランスでも同様に一年間の予備職業教育をやつて居るが、こゝでは大きな工場では自工場の中に、小せん維工場では協同して学校を作つたり、大工學の施設に委託して、かなり實際に即したやりかたをして居ます。毛紡の中心地プーベイのある大きな紡織工場の例をあげると、この予備教育の一年間、毎日八時間（土曜日は休日）その半分が教室授業で半日が特設された練習工場で、紡織の可部の仕事を先生について習つて居ります。教室授業は普通教育と家事、さい縫、料理、育児と少しの紡織技術、労働法規、工場衛生などの実験を豊富にとり入れた講義と実習です。実習工場では、生産品は作らないのですが、しかしこの工場で使用する括り糸などを材料に実習して居ります。

イギリスでもフランスでも当路の人々の考え方は、女子の教育は工場においても、将来の良母になる教育をするのだ、文化的向上を期することが第一だということです。

この職業前の予備教育の制度は太へん良い。この間に向はうとする職業分野の全体を試み乍ら、自分の適性もその間にしつかりつかめます。その上に、その職業分野を中心として整理された一般教育の補修をする。身体的職業適應もその間に漸次出来あがる。そうした上で一年たつて初めて、これから就こうとする方向を受持ちの先生と相談してゆつくり決めることができる。この一年の教育期間は賃金を支払つていない（疾病災害保険はある）ので、フランスの様に工場の役にたつ仕事ができる程賃金も貰ふ。

が戦後、この新居に住みついで以第、多少の家財を次々と買つて、今ではグランドピアノ一台とたんす三本、それにラヂオ一台これが私達の目ぼしい家財です。

主人の給料は一週八パウンド一シル四ペンスで、その中から所得税や保険金などを差引かれて、毎週家に持つて帰るのが七パウンド、その中から三〇シルを自分の一週間分の御小遣に差引いて、家計のために私が貰うのが五パウンド一〇シンです。(注十二ペンスが一シルリング、二〇シルリングが一パウンドで、一シルリングは現在日本のおよそ五〇円にあたる)

私も外に出て多少仕事をします。そのお給金の中から所得税や電車賃や昼食代などを差引いて、毎週三パウンド程になりますが、これは毎週の家計以外の出費にまわします。戦後、前に云つた家財道具を買うのにおよそ二〇パウンド

主 人 か ら		収 入	£.	s.	d.
主 人 か ら			5.	10.	0
娘 か ら			1.	0.	0
合 計			6.	10.	0
支 出					
家 賃			2.	0.	0
ガ ス 代				7.	3
肉 代				7.	0
牛 乳 代				9.	5
野 菜 代				12.	0
その他の食料品代			1.	1.	0
洗 たく 材 料 代				5.	0
パン、菓子代				6.	0
カ ン 詰 代				5.	6
着 代				3.	6
窓 掃 除 代				1.	6
合 計			5.	18.	2

かゝりました。それは皆、私が働いてもら
けたお金で買ひ求めました。そこで今の私達一
家の家計を御ひるうしませよう。右の収入で、
支出は毎週大休次の表にかいた通りです。上の
娘がピアノひきでフィルム会社に勤めて、その
お給金の中から毎週一パウンドを家計の方に入
れてくれます。

これが毎週の基底出費で、冬はこの上に暖房
用の石炭代がかさみます。その他に、靴修繕に
時々一三シルとられます。申しおくれましたが
私達一家は、主人と私と十九になる娘と十三才
になる息子との四人家族で、息子は中学校に行
つています。その学校の昼食に週三シル九
ペンス納めなければなりません。その上近頃急
に大きくなつたので、服などは大人と同じもの
で二〇パウンドかゝります。それにプレーザー
が三パウンド七シル、シャツが一八シル六ペ
ンス、スーツが六パウンド一五シルかゝります。
主人の作業靴が三パウンド九シルかゝります
が、これは六ヶ月しかもちません。また機関組

立この作業靴が二パウンド五シルで、これが一
年に二枚要ります。

電気代は年額にして、二〇パウンドかゝりま
す。又、保険のかけ金が年額七パウンド一〇シ
ルで、医療はこの国ではすべて健康保険ですべ
て無料ですけれども、一週間の夏休みにはどこ
かへ遊びに出かけたいです。それに二五パウン
ド程はとつておきたいというわけで、その他に
交通費が上り、諸物価が上る一方の今日、家計
は赤字続きです。もちろん洗たくは私が家族全
部のものを一人で、土曜日にすることにして居
ります。毎日仕事から帰ると家の拭き掃除から
夕食の仕度と、全く座るひまはありません。
一寸待つて下さい。御主人の収入は、五十才
近いこの国の熟練工の賃金としては少し低いよ
うですが、一般には御主人くらいになると週給
一〇パウンドを越すものが普通だと聞きますが
如何ですか……

それがです。ガス会社は公社で賃金は少し低
いが、極めて安定しています。主人は賃金の高
度、出頭して貰いたい」と

というようになことで、断は私にとつて全く突
飛で、中々のみこめない。いろ／＼聞いたとし
て、やつと分つたのは、こういうことであつた。

老秘書マイヤー先生の件に關して、執達役場
は、私に再度の払込督促状を書いたというのだ
が、それを私が知らなかつたのは、この老秘書
が、私のオフィスに来るときにはいつでも郵便
局に立廻つて、私宛の手紙をみな持ち帰ること
になつていたので、自分のことを書いた私宛の

には無頓着な方で、社会科学、労働者厚生施設
などに大へん興味を持ちまして、このところ
四年間、大学の夜間の公開講義を聴講して、す
でに社会学、社会心理学、社会情勢科の免状を
貰いました。夜工場から帰るとその勉強をして
います。

ピアノは私共の分際では少しぜい沢だとお考
えてしようが、これで娘の会社のお仕事が大へ
ん都合よく行つていたので、必要な暮しのかて
です。私も外に仕事を持たなくては、夕食
の用意に西区の高い食料品を買わなくては、昼間
に安い市場に出かけて調えればよいのですが、
やはり前に申し上げました通り主人の収入だけ
ではとてもやつて行けませんので、電車賃や食
食代を支払い乍ら、外に出る仕事を続けなけ
ればならないのです。物価と賃金とのいたちご
つこには全く困つたものです。いつになつたら
この状態からぬけられますかしら。

(イラストレーテッド誌の記事による)

カットは桐原先生画

役所の手紙を、この老先生、つい自分のポケット
にしまひ込んで、私に渡さなかつた。一度それ
が成功したので、二度それをやつたものらしい。

そこで私は、役所の手紙の内容としようものを
全く知らなかつたわけである。執達役場は、私
に、約千フラン(いまの十万円)ばかりを至急
に払込むよう、その後もやかましくせがんでく
る。何はともあれ、私がそれを支払わぬかぎり
は、私はやはり差押えを食うにちがいないので
ある。事はそこで来ていた。私がそれを知ら

に、毎月五百フランの全部を私は彼に支払つて
いたのである。しかし、知らなくつても、私は
その毎月の五百フランが七ヶ月分ほど滞つて
いるのを、余分に役所に支払わねばならぬ。私
の損である。むろん、私は、マイヤーのウソつ
きを取つちめて、目玉をむき出して、何とかそ

別居手當

笠 信太郎

の、僕にとつても申々小金でない千五百フラン
を、どこかで調達してこい！ でないと、早速、
弁護士のところへ行つて、それから……とおど
しつけるほかない。そのおどしがきかなかつた
ら、やはり、私の損である。

ところが、この「法律」が国民を正当に保護
する「力」をもっている国では、私ごとき、ス
ゴみななどいうものをあまり持ちあわせない男の
いうことでも、十分におどしがきく。マイヤー
君の名譽のためにも、その結末を書いておく必
要がある。要するに彼は、約半カ年の間、僕の
不注意を利用して、僕本人の意識に訴えないで
僕から借金していたに過ぎない。最後に、無利
子ではあるが、千五百フラン(十万円ですぞ！)
彼はミミをそろえて、私に返還せざるを得なか
つたのである。……

これを書いたのは、申すまでもなく、婦人の
地位は、正當に「法律」で保証されねばならぬ
ということ、そしてそういうような、似たよう
な法律は、どこの国にもあるにはあるが、その
法律が「力」をもつて行われねばならぬという
こと、それが言いたかつたからに過ぎない。そ
うすれば、婦人参政権などというおど
そかなものも、実はなくつたつて、婦
人の地位は高く保たれる。……というの
は、そのスイスには、まだ婦人の選挙
権はないのである！ しかし、考えて
みれば、こういう力をもつた法律が、
あの国の汽車が走る程度に正確に、行
われてゐるのなら、選挙権もいらぬは
ずだといえよう。なるほど、それには

国全体の経済が豊かで、民度が高くなつてはな
らぬ、ということがある程度は前提になる。む
ろん、そのことも考えねばならぬ。マイヤー君
は、三百五十フランで何とか男やめめの一人生
計ができればこそ、百五十フランを国法によつ
てまき上げられても、人権が踏みつぶされたとい
うことにはならないのである。しかし、妻を
去れば必ず、全く必ず、自分の収入からその收
入に応じて何割かはまき上げられる、二度目の
妻を去るものは、さらにその上に何割かをまき
上げられると、判然然とときまつておるなら、
男は女にむかつていゝ加減には甘ツたるい口上
で氣を引いたりするわけにはゆかぬことになる
うし、婦人も、共同生活で、身も心も夫にさ
げたあとで、突如として路頭に迷うというよう
な理の通らないことも、ないわけである。
お五によく考えて下さい。(朝日新聞 論説主幹)

なかつたばかりである。が、知らないというこ
とは、何も法をまぬがれるわけには行かない。
さてスイスの法律によると、妻の發意でなく
妻を離婚した場合、だから大休に夫の方に何か
落度があるか、あるいは妻の方に何の落度もな
いのに夫が要求して離婚したような場合にちが
いないが、そういうときには、夫の收
入の中から、夫の生活維持に足りる額
だけどうしても残してやらねばならぬ
が、その収入の何割かを離婚した妻に
毎月支払つてゆかねばならぬ。その支
払いは、執達役場を通して払込ませる
ことが出来る。それを夫が支払わない
場合には、夫は執達役場からの差押え
を食う。しかし——こゝが大切なところ
だが——夫が何処かに勤めている場合、即ち
月々の給料をどこかで貰つてゐる場合には、そ
の給料を渡す雇主が、この去られた妻にその男
が渡すべき金額を、給料の中から予め差引い
て、これをこの男には断じて渡さないで、自分
で留保しておき、それを執達役場に払込んでや
る「義務」を負うてゐるのである。それが、こ
の国の法律である。

それで話は、おわかりかと思う。私は、その
義務の履行を、執達役場から追求されたのであ
る。私は、そのマイヤー君に、月々五百フラン
の給料を渡しておつたが、その中から百五十フ
ランが、彼の先妻の受取分と判決されてゐたの
である。そしてその百五十フランは毎月私が差
引いて、三百五十フランしか、マイヤー君に手
渡してはいけなかつたのである。それを知らず



近頃の世相

美川 きよ

婦人と年少者

私は若い頃世間一般の常識的な考え方に不満や怒りや哀しみを抱いて、その溜り溜った苦痛が破れ口を見出す術に小説を書き初めたものであった。私は発表しなくても書くことで自分の体内にある悪血を手術したやうな気がして、自分で自分を助けてやつたものだ。そのやうな私が新聞や雑誌の人生案内を引き受けるやうになったことを不思議に自分で思つてゐた。いつの間にか私も常識人になつてしまつたのである。か、常識的な小説なんて凡そ魅力の無いものだ。常に新しいモラルを手探りして一歩一歩高くか深くかへ前進して行くのが作家としての仕事な筈だ。小説の上手下手は二義的なことだという考えには変りはないのだが、終戦後のモラルの低下は余りにも非常識過ぎて醜態混同の世相を呈しているのを見ると、私は非常識な人間に再び若い頃と同じやうな不満や怒りや哀しみを抱くやうになつてしまつた。

この間或る場所で開催されたのだが、そのあとで十二、三の青年が、新聞の人生案内の私の答が常識的でものたりぬからとヤツと答を弄して呉れといわれ、若い女性数名が同意の拍手をした。青年は教師だそう。インテリとしての誇りを持つてゐるらしい風であつた。インテリ層には私の答は徹底的に感

られるであらうことは察しられるが、マッカーサーが日本人の智能は十二歳位だと失言？して日本人の憤懣をかつたが、新聞を讀む多種の階級の半数は十二歳でなくとも十六、七歳の単純な考え方の人の方が多いことを思いやると、いい過ぎた場合の影嚮の危機を感じて手綱を引締めざるを得なくなる。

百人に満ちる答は不可能事だ。坊さんは人を見て法を説くというが、凡人の私如き者は、手紙の字や顔の種類のその人の環境や性格を探り、余りに弱い人には強いはげましを、いい気な人には手引きし方をする位がやつとである。しかし、迷える者は道にでもすが、その一時期の驕の役目に立ちたいと思つてだけは激しくせつない。私のこゝろいう考えは、私の小説をより通俗なものにする影嚮になるのではあるまいかと自戒してゐたが、このごろの私はそれによしといふやうな心構えになりつゝある。どうせ後世に名を残すなんて大それた考えは持たぬのだから、生きてるうちに筆で役立つことなら致したいという氣になつて来た。清少納言は「われ一にてあらん、二や三にてはあらじ」とプライドを持つてゐるが、私は自分をよることなく人達の中へならば何處へでも流れて行きたい。私の姓名から生れつき低い方へと自然に流れて行

亦認識されるべきものである。

人生案内担当の美川氏はその指導されている中に「夫を代えることより、よりよき職を」と申し居るが「よりよき職」とは他方野犬捕獲が「より悪き職」と解釈されこの点不審に思われる。人には、環境、時代等によつて夫々の立場があるものである。正義を以て眞剣に人生と取組んでゐる人々こそ、眞に尊く、人は斯くありたいものと思う。Y子氏よ。徒らに取越苦勞をせずに立派な夫君の職身的職務をよく理解し、相手は野犬である以上、危険を被らない様に夫君の為に尽され日々のお仕事に大いに胸を張つて人生を歩んで下さい。(原文のまま)

私はよりよき職をとの失言の為に痛く叱責された次第だ。犬殺しという題はこれは醜聞新聞社の責であるが、何とかいう公務員の名前では私も何の職かわからなかつた位なので、わかり安い耳なれた題を考慮されたものであらう。

しかし、この三通とも種類こそ違え、底を流れてゐるものは実に嬉しい眞実の情味であつて、私は叱られてもありがたきよこんでゐる。

私は自分が承どころかむかや芋虫でも殺し得ぬわが子屋なので、それに子供の時の記憶が去らず犬殺しの小父さんが来るよと母にいわれると押入れの中にかくれた憶病心から、さぞいくら仕事とはいへ生き物を殺すのは辛かろうと感傷的同情をしてしまつて、うっかり失言を吐いてしまつたのだが、一言一言にも、左様に細かく神経を使わなければならぬかと思つた一層責任を感じて来るハメになり、それこそ危つ氣のない当らずさわらずの返事を書くより仕方がないことになる氣がする。が、それはなりたくない。

細かいいいまわしや言葉の不備は見逃して貰いたいのものだ。非常識な人間はきらいだが、愚迷な旧い常識

く宿命なのかも知れぬと、自分がかかしくなることがある。

筆が変な方へなされたが、最近一寸考えさせられたことがあつたので、一例に取り上げて見る。

犬ころしの夫を持つた妻の投稿があつた。ある職場で相思相愛の仲となつて周囲の反対を押して切つて結婚したのだが、二月目に夫の方が誠意された。やつと捕獲員になつて六千円だつたか七千円だかの職を得たのだが、妻の親達の家系の恥だから親の許へ展れと責め、妻は好い人間である夫を見捨てるにはしのび得ぬが友達に知られることをおそれて、やめてくれと頼むが、夫の方は厭なら帰つても好いといふのだが、去つたあと自棄的になりはしないかと去り得ぬいじらしい女らしい迷ひの手紙であつた。

私は現代の就職難の時代にむしろ勇気ある態度で女たらしや、競馬競輪通いに機嫌を頼むより立派な道から、別れてはいけなと答えて、その周囲の者達への反感から、そんなにいい親戚がありながら若い世帯のそこまで必死な生き方を見究めたのなら、何等かの形で手をさしひいて二人を守り育ててやらぬのかとひよつとして頼の無い手紙だからその親達の眼にふれるかも知れぬとそれも念頭に置いて書いた。

ところが秋の手許にこの投稿について何道かの第三者の意見が舞いこんだ。社会の声を代表する感があつて私は慎重に考えさせられた。左に披瀝して見る。

(犬は犬殺し、勤め先で氣兼ねる妻)を讀んで馬鹿々々しさに腹が立つて仕方なく筆を持つた次第犬殺しがどうして悪い——何だから他人に氣兼ねなければならぬのだ。その判断に苦しむ。娘の親も親、その親の心の勝手なのにも驚く。そんな奴の娘だからそんな心になるのだから。毎日親子心中の配事が出て居るがかりにその心中する人達に(犬殺し)でも職があつたら恐らく死なな

の殻の中に又入りたくは絶対にない、常識の線をもう一段あげて良識の線を探すが、今のやめる人達にとつては一番にかんじんなことなのではあるまいか。

考えれば考えるほど難かしい一線である。絹糸のやうに細い一線を私は一心に手さぐりして求めやうと勉強し、努力してゐるおぼつかない私自身なので、人生案内なんて柄では無いのだ。

しかし、いくつかの細々とした考え方、引例した手紙の中の人々や、そういうものがより集り育つて、次の時代を過去より多少でも幸福な人間の在り方にする、モラルの太い道に成長させることが出来るのでは無かるうか。

米国における離婚の状況

一八六七年以来、アメリカ合衆国における離婚者数の増加は、人口の増加をはるかに凌駕し、その二十倍に達しています。現在の離婚率は世界最高で、カナダの五倍、英國の三・五倍、フランスの二倍となつており、この率ではアメリカ合衆国の新婚夫婦三組につき二組は結婚生活十五年にならぬうちに離婚に終るといふ計算になります。そして年々三十万の子供達が離婚による家庭の破壊の犠牲になつてゐます。

また離婚しては、夫婦のどちらか一方が経済的に困窮するとか、或いは他の理由で離婚することのできない者達は、夫婦別居という形をとつて居ります。一九四〇年の国勢調査は、正式に離婚した者の二倍の数の人達が別居していることを示しています。

このような状態にあるので、離婚は米国における最も深刻な社会問題の一つとなつており、近年政府及関係諸団体がその解決のために努力しています。

フランク・フォーラム

婦人と年少者

もすんだらう。可愛い子供送道連れにして、私は涙なくして一度でも読んだことはない。生活は戦争である。油断すれば切られて死ぬ眞剣勝負である。人に見せる為にする遊戯では無い。私の葉書を彼の女に渡して見せてやつて下さい。苦悶する人の為。

以上は原文のまま。群馬県魚行商人からだ。次のは娘を持つ一老人からの葉書だ。

解答拜読致しました。実に誠意の籠つたお答に眼頭が熱くなりました。本人夫婦も定めしお喜びの事と存じます。又彼の女の両親様も反省致した事存じます。貴女様の解答は唯に彼女のみの解答にあらず一般父兄の参考にもなると存じます。この件については貴女様は縁談の神様と存じ厚くお礼申し上げます。(原文のまま)

まことに私としては嬉しい手紙だ。神様みたいにいわれたので氣を好くしてゐるのではないが、この老人の温かい人柄、ひとことと思わずにお礼をいつて来て呉れるこゝろが日本人の中にはまだ在るのだと、それが私をたのしくさせたのであつた。

もう一つは又、別の鋼方なのでついでに並べて見ました。

九月十七日の人生案内を讀んで甚だ遺憾と思ひました。

「夫は犬殺し……何という忌まわしい言葉である。而も大衆の面前に於て、抑も野犬捕獲員は公務員であつて都道府県の知事によつて指定されているのである。狂犬病の抹消に一意専心努力している人々である。狂犬病の恐ろしさを知らぬ人としては無い筈だ。犬という犬を皆殺しにしない限り野犬捕獲員の使命は重大である。

「犬殺し」等と卑下したるものではなく、寧ろ大衆を指導し大衆を啓蒙するべき事を認識し、

中学生の進路

年々学費を果立つて百数十万の中学校卒業生は、はたして社会の何処に吸い込まれていくのでしょうか。

六・三制義務教育制度が実施されてから、中学校を卒業する年齢は満十五才となつたが、この年齢の卒業生を世の中に送り出すに到つたのは、新教育制度が完全な実施された昭和二十四年度（一五年度卒業生）からでした。その年度の卒業生数は、前年度の一二八万三千人より約三〇万人、翌二五年度は更に二二万人も増加しています。（表を参照して下さい）

また各年度を通じて女子の卒業生より男子の方が多くなっています。

ではこれらの卒業生のうち、何人が上級学校に進み、何人が就職しているのでしょうか。

表を見ればわかるように、上級学校進学率も、就職率も二五年度は前年より値が下がっています。

（ここでいう就職者には、雇用された者は勿論、商業、農業、漁業のような職業に従事している人もすべて含まれています。）

文部省統計連報第五七号（昭和二十六年十一月）によれば、就職した者のうちで上級学校に入学者は、十人うち一人に過ぎません。

中学校卒業生の進路別員数（昭和25年度）

	昭和25年度		昭和24年度	
	実数	%	実数	%
数校者者業	1,713,361	100.0	1,588,227	100.0
進学	750,113	43.8	682,259	41.1
就職	792,668	46.3	717,177	45.2
死亡、不詳	146,057	8.5	191,047	12.0
その他	24,523	1.4	27,744	1.7

昭和25年度は、前年度の一二八万三千人より約三〇万人、翌二五年度は更に二二万人も増加しています。（表を参照して下さい）

また各年度を通じて女子の卒業生より男子の方が多くなっています。

がら学校へ行っている者が八万三千人います。

また同じ資料に昭和二十六年度の高等学校入学志願者数は約一〇四万六千人、うち入学できた者は八万七千人となつています。

婦人少年局の調査によつても、働く年少者の大部分が、上級学校に進学したいという希望を持っていることがわかります。

次に昭和二五年度を例にとつて、中学校卒業生がどんな職業に就職しているかを見ましょう。

就職者の少ない産業は不動産業、金融

昭和25年度中学校卒業生の産業別就職者数

	計		男		女	
	数	%	数	%	数	%
総数	792,668	100.0	407,386	100.0	385,282	100.0
農業	891,018	49.4	197,077	48.4	194,241	50.4
林業	3,854	0.5	3,853	0.9	506	0.1
漁業	19,776	2.5	16,031	3.9	3,745	1.0
水産	3,221	0.4	2,694	0.7	527	0.1
建設	13,822	1.7	13,206	3.2	616	0.2
製造	228,299	28.2	108,107	26.5	115,192	29.9
卸売	12,970	1.6	9,447	2.3	3,523	0.9
小売	48,474	6.1	28,608	7.0	19,866	5.2
金融	2,605	0.3	787	0.2	1,818	0.5
不動産	321	0.1	142	0.1	179	0.1
運輸	12,889	1.6	7,508	1.8	5,381	1.4
通信	31,040	3.9	9,057	2.3	21,983	5.7
娯楽	7,971	1.0	2,920	0.7	5,051	1.3
その他	21,096	2.7	8,488	2.1	12,608	3.3

及び保険業、飲食業等ですけれども男女割合でも値がな数です。

男女の割合を比較して、女子の方が特に高い産業はサービス業と製造業で、男子の方が高い産業は農業及び水産業と建設業です。これらの産業は男女でも女子でもかまわないというものでなく、それだけ男子あるいは女子のいずれかに適するといふ仕事の性格によるものでしょう。製造業の場合は操業、勤続等の産業に多数の女子が就職しているためです。

中学校卒業生の約半数に近い就職者の

なか、最近の傾向として求人者側同様の捕縛していない者や貧困の家庭のものは採用しないとかあるいは、夜学に通う者は採用しない傾向が相当にあらわれていることとす。

求人者側を捕縛し、職を採用しないかは周囲であるかも知れませんが、そのような態度をとりめぐらして家庭状況の悪いものや、夜学志願の者はいづれ就職の間からしめ出されることとす。それでは、契約の自由として、さげられない悪徳として放任されてよいものでしょうか。

世帯の御理解と御協力をお願いいたします。

売春問題の対策に関する答申

婦人少年問題審議会は、かねて大臣より諮問されていた。売春問題の対策に関する答申を行いました。その答申書は次の通りです。

売春問題の対策に関する答申

昭和二十七年五月三十日発婦第七号による諮問「婦人の人権を尊重し、その福祉をはかるため、売春問題に対する対策につきその会の意見を問う」について本会は、別紙のとおり答申する。

昭和二十七年十二月二十七日

婦人少年問題審議会

会長 神 近 市 子

労働大臣戸塚九一郎殿

現在、公娼制度は法律をもつて禁止されているにもかかわらず、旧公娼地域は全国に四百近くを数え、約一万三千余のいわゆる特殊飲食店業者が、通称赤線区域内に、黙認された状態で営業をいとなみ、そこに約四万五千名に上る娼婦が自由意志の名目で売春行為を行つていますが、その実態は公娼制度の時代とあまりかわらない有様である。しかも、現在これら集娼地域の周辺にはこれに準ずる営業の地域が次第に拡大し、さらに、私娼街娼が各地に拡散する傾向にあり、これがいわゆる人身売買の温床ともなり、就職難の婦人の転落を助長し、あるいは女性肉体の切売りによつて利益をうる業

者の増大、仲介業者のちよりよりを許し、人道上、風教上、及び公衆衛生上、重大な社会問題を形成している現状である。

婦人の眞の解放をはかり、婦人の人権を擁護し、もつて婦人の地位の向上を実現するために、このような状態は一日も放置しておくことは許されない。よつて速やかに法規の整備、取締の強化を行うとともに単独の売春禁止法を制定する一方、売春婦の保護厚生ならびに一般婦女子の転落防止のための積極的な対策を樹立し、さらに本問題に関する正しい世論の啓蒙につとめることが必要である。

一、黙認主義を排して、売春取締を強化すること

現行の諸法規は、売春業者の営業の禁止その他の取締りを規定しているにもかかわらず、従来旧遊廓地帯はいわゆる赤線区域として黙認されてきた。これは戦後、公娼制度廃止当時（昭和二十一年）の取締当局及び次官會議（同年十一月十四日）の基本方針が、売春制度を「社会

上已むを得ざる悪」とみなし、「一般女子の保護、一般社会からのこの種の地域の隔離、性病の蔓延の防止などを理由として黙認主義をとつたがためである。しかしながら、一部の女性の肉休をもつて一般女子を守るという考え方は基本的人権をじゆうりんするもので、民主憲法の下容認することのできぬものであり、又特定の地域に隔離して社会の風教を守るといふ考え方は、むしろ逆にこれらの地域を中心として私娼が拡大し、更に各所に拡散している現象によつて否定される。

又、性病の蔓延は事実上防止されていない。その上、この種の地域を中心に各種の設備、営業が成立するにつれて、売春そのものに対する罪悪感はいさしつあり、そのために自由意志による売春が助長されている。

さらにまた、この赤線区域内における従業婦は名目上自営の形態をとるとはいえ、事実上、業者との間に雇用関係があり、稼き高に對して相当高率な中間搾取をうけている。このように、いわゆる赤線区域は日本における売春問題の根源をなすものであつてこれを黙認することは人道上及び社会政策上決して許さるべきではない。よつて速やかに黙認主義を改め、関係当局において現行法規による取締りを徹底的に行ふことが第一に必要である。

二、単独の売春禁止法を制定すること

現在、売春禁止に關係ある法規として、勅令九号、刑法、民法、労働基準法、職業安定法、児童福祉法、性病予防法、

附帯決議要旨

勅令九号、婦女に売淫させた者等の処罰に関する法令は、婦人の人身売買防止並にその基本的人権の保護については極めて不十分である。よつて政府は右勅令の根本的な改正法案を、速かに国会に提出すべきことをここに要求する。

三、売春婦の保護、厚生対策及び一般婦

と同時に、日本政府當局も、駐留軍人相手の売春を嚴重に取締ることが必要である。去る七月二十三日、米國上院においてなされたこの問題に関する質疑における米國防長官の回答中に、日本を伝統的な売春国とみなす主旨の言辭があり、また駐留軍人として日本における売春問題を單に性病予防の観点からのみ考慮するような態度のあることに對して、日本政府は沈黙を守らねばでない。而して駐留軍人が日本の売春婦と遊興することや禁止する措置を駐留軍側に要求するためには、まず国内の時平なる禁正方針を実施せねばならないことは確いまでもない。基地の風潮問題については、双方の國が対等の立場に立つた、眞に誠意ある、人道に基づいた解決態度を前提とするものでありこの點に關して双方の眞面目の努力を要望するものである。

以上の観点から彈劾した結果、いかなる売春關係法規並びに地方條例をもつてしても、売春取締りに對する政府の基本方針の確立なき限り、売春問題の解決はのぞみえないと結論した。

以上の觀点から當面とられるべき対策として關係當局に對し、下記の事項の実施を要請する。

(一) 売春關係法規の完全実施
令を完全に實施すること。
勅令凡号

(二) 金條文
第九十條
第四十七號

刑法
第九十條
第四十七號

婦人の地位委員会

—總理府統計局 勞働力調査—

—労働省労働統計調査部調—

産 業 別		女 子	男女計	男女計中 に占める 女子割合	女子雇用 者の産業 別構成率	女子の前 年の同月 の比 較
総 数		千人 14,990	千人 37,560	% 40		千人 + 390
就 業 者	自 営 業 者	2,080	10,330	19		+ 10
	家 族 従 業 者	9,000	13,010	69		+ 210
	雇 用 者	3,910	14,220	27	% 100.0	+ 170
	農 林 業	160	490	34	4.1	+ 20
	漁業及び水産養殖業	10	210	48	0.3	± 0
	鉱 業	50	610	8	1.3	- 10
	建 設 業	120	1,020	12	3.1	+ 10
	製 造 業	1,560	4,830	32	40.0	± 0
	卸売、小売、金融、 保険、不動産、 運輸通信その他	670	2,060	32	17.1	- 10
	サービス業	210	1,830	11	5.4	+ 20
公 務	220	1,140	19	23.0	+ 100	
失 業 者		150	420	36		+ 30

〔註〕 統計表の数字はすべて調査結果の実数に推計乗率を乗じたもの、千位以下を四捨五入した結果であるから、表中の総数欄の数字はその内訳の合計に必ずしも一致しない。

日立洗濯機

日立製作所



軽いリズムで楽しく縫える！
リズムミシン

最新角型足踏式

製造元
富士精密工業株式会社

旧（中島飛行機）

婦人と年少者

82

三月十六日から二日間、モリイグで開催される国際連合経済社会理事会の専門委員会である「婦人の地位委員会」に、アブラーウィッチとして出席のため、来る三月八日空路渡米する予定である。なお同委員会は今年は第七回目で、婦人少年局からは第四回は婦人課富田展子氏、第五回は田中婦人課長、第六回は藤田局長が出席している。

—— ざらになりましたか ——

- ◎婦人雇用の現状——一九五二年分
- ◎「女子保護実施状況」よりみた女子保護の概況
- ◎婦人労働資料第二二号
- ◎アメリカ婦人のパートタイム労働
- ◎海外婦人労働資料三八号
- ◎婦人労働統計資料——一九五二年分
- ◎婦人労働統計資料八号
- ◎女子の重労働取扱作業に関する調査
- ◎婦人労働調査資料十号
- ◎産前産後休業調査
- ◎婦人労働調査資料十三号

年少労働統計資料
——一九五二年分——B版
年少労働に關係のある統計資料を各官庁の資料から蒐集したもので、労働力人口、就労状況、就職状況、労働基準法実施状況、体格および犯罪、不良化の状況等広い範囲に亘つて網羅してあります。

—— 年少者の特殊雇用慣行 ——

- ◎国際資料No.6 各国における児童労働の取締法律が適用された九件の裁判例を収録したものを紹介したもの
- ◎国際資料No.6 何ゆえの紅い灯か B 6 19頁
- ◎紅灯街及び営利的売春に対する反証——米國で、組織的売春街撲滅のために用ゐられた教育資料の抄訳。赤線区域等の問題を考へる上の好資料
- ◎一般資料No.6 売春に関する資料——年表と文獻目録—— 藤田印刷 81頁
- ◎一般資料No.8 中小企業の実況と労働者家族の問題——婦人問題會議紀要—— 藤田印刷 84頁

年少者の特殊雇用慣行
—— いわゆる 人身売買の実態 ——
定価二〇〇円
送料 三〇円
発行所 婦人少年協会

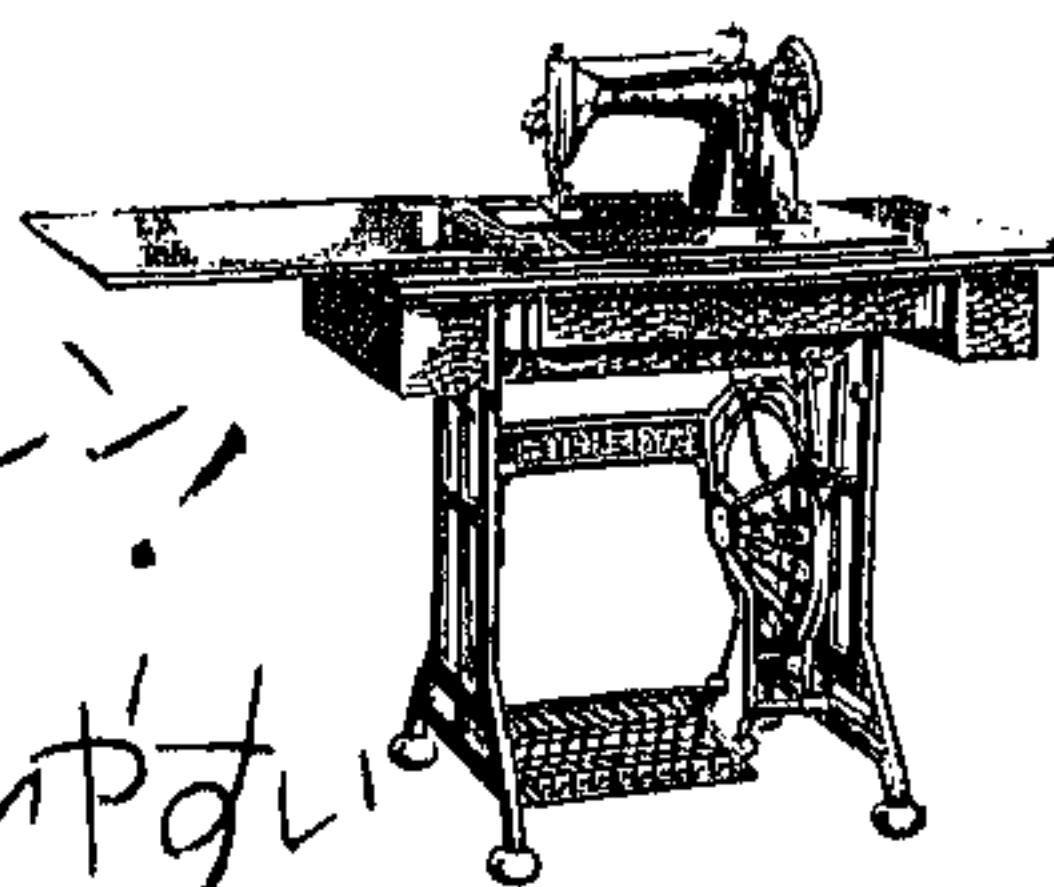
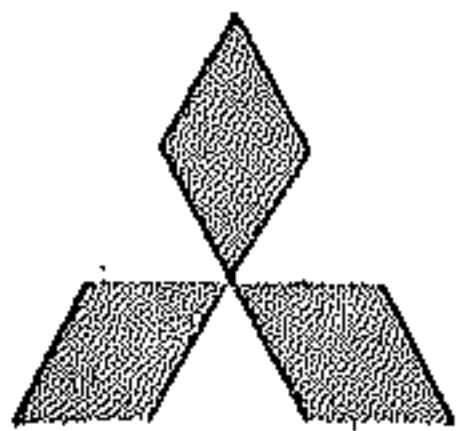
—— 年少者の特殊雇用慣行 ——

「いわゆる人身売買事件」とは、どんな実体のものをいうか、又それらに対して当局ではどんな手を打っているか、その実情はどうか、更に歴史的な展望を加へ、なお地方的な慣行などを紹介した。「いわゆる人身売買」の総合的な資料です。

この度婦人少年協会が発行した「婦人少年協会」は、只今、広く全国より会員を募集いたしております。協会の趣旨に賛成の方々が、お誘い合せになつて、一人でも多く御入会下さい。協会がよりよい活動ができますよう御協力下さることをお願いいたします。

—— 婦人少年協会 ——

婦人少年協会
昭和二十八年三月一日印刷
昭和二十八年三月五日発行
印刷人 永井直保
編集人 桐原漢見
発行人 神近市子
東京都千代田区大塚町二丁目七番地
電話 九〇八〇（本五）
九〇八二（本六）



宝石入りのミシン！
美しく、丈夫で、使いやすい

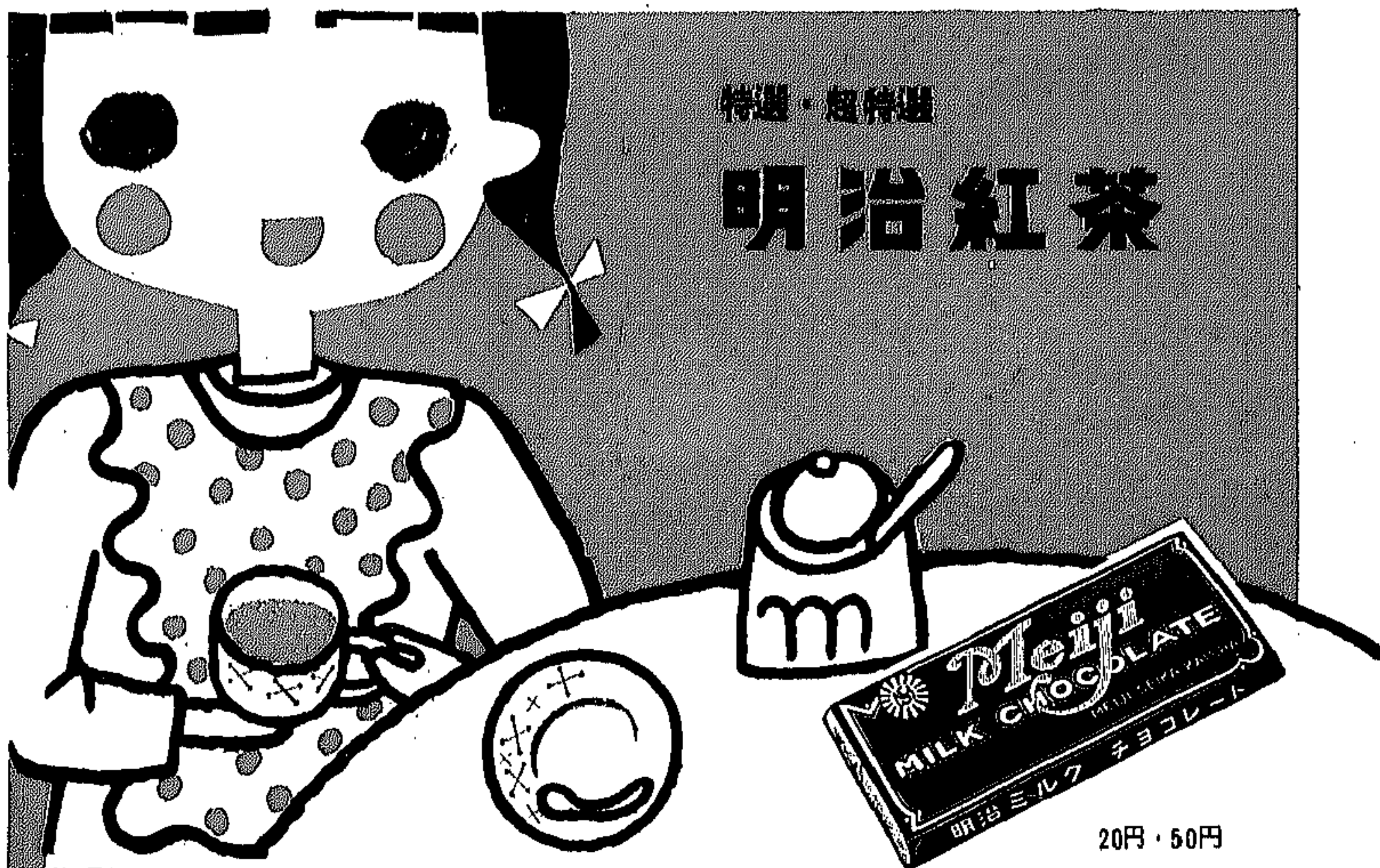
三菱ミシン

家庭・職業・工場

御照会は
販売店・デパート当社陳列所へ

ミシン針も三菱 家庭用 11番・14番

三菱電機株式会社



特選・超特選

明治紅茶

世界に誇る味！

20円・50円

明治ミルクチョコレート